



愛知陸協広報

第51号

令和2年11月30日発行

一般財団法人 愛知陸上競技協会

〒460-0012 名古屋市中区千代田二丁目19番16号 ハレラニ千代田ビル 3F

電話 (052) 249-4363 ファックス (052) 249-4366

ホームページ: url <http://www.aichi-rk.jp/>

苦難の新年度を迎えて

会長 稲垣 隆司

With コロナ社会の中での陸上競技の実施について

愛知陸上競技協会の会員の皆様方には、日頃から本協会の運営に多大なご支援・ご協力をいただいておりますことに対し心より厚く御礼申し上げます。また、県内各地で開催されます各種陸上競技大会の運営や公正かつ厳正な審判、さらには選手の育成・強化指導等に多大なご尽力をいただいておりますことに対し、併せて心より感謝と敬意を表する次第であります。

さて、本年は年初から新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染が我が国のみならず世界的に拡大したことから、東京オリンピック2020が1年延期になるとともに、県内の各種陸上競技大会もすべて中止してきたところであります。その後、7月以降は日本陸上競技連盟の方針に則り、審判員や補助員を競技に支障が生じない最小限の規模とするとともに、競技場入り口での検温、アルコール消毒の徹底、さらには無観客とするなど感染防止対策を講じた上で、愛知陸上競技選手権大会や全日本大学駅伝2020など一部の競技については実施してきたところであります。

ただし、今後も愛知県市町村対抗駅伝大会や読売犬山ハーフマラソン、穂の国豊橋ハーフマラソン（公認の部）などは地元自治体の意向もあり、大変残念ですが中止することとしております。

来年3月14日に開催予定の名古屋ウィメンズマラソンにつきましては、参加人数を縮小するとともに無観客にするなど感染防止対策を徹底したうえで実施する予定であります。

いずれにしましても、新型コロナウイルス感染症を予防するワクチンや治療薬が開発されるまでにはまだまだ時間を要します。With コロナ社会にあって、「感染拡大の防止と社会経済活動の両立を持続的に可能としていく」新しい生活様式の定着を目指すためにも、陸上競技のすばらしさを多くの県民・市民の方々にPRしていただき、お子様からお年寄りまですべての県民の皆様が、健康で心豊かな生活が送れるよう、会員の皆さま一人ひとりと共に努力してまいりたいと考えております。

会員の皆様方には、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

女子四種競技で日本中学記録更新

10月16日（金）・17日（土）に横浜日産スタジアムで行なわれた全国中学生陸上競技大会2020で、岡崎翔南中学の林美希選手が3233点で女子四種競技日本中学記録を更新しました。（100mH：13.76 走高跳：1.64 砲丸投：11.19 200m：25.64）

林選手は、8月29日にパロマ瑞穂スタジアムで出した自身の3191点をも上回っての中学記録更新です。今後の活躍が期待されます。

（写真は陸連ホームページより）



日本中学記録更新の林美希選手

専門委員会報告

総務委員会

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で4月～6月の各大会、8月の「東海選手権」も中止となりました。7月からは、安心・安全のため、無観客試合、入場も大会関係者のみにしぼるなどのコロナ対策を施し、県選手権・他の大会も日程や競技会名を変更するなどし、開催しました。これに際しまして関係各位の皆様にご協力いただき大変感謝しております。ありがとうございます。

この後は、年明けの「元旦競歩」、3月の「マラソンフェスティバル」の開催を控えております。これらの大会に向け、各委員会や各方面との連携を取りながら準備・本番を迎えたいと思っています。(水野 隆夫)

競技委員会

コロナ禍の中、トラック&フィールドの競技会も終わり、駅伝、ロードの競技会が始まっています。

今年度は、ようやく7月から競技会が始まり、今までに無い対応を迫られ、審判員のみならず、競技者、指導者、保護者の方々にも我慢の1年になりました。コロナ禍の競技会は、無観客、体温測定、体調チェック、アルコール消毒やマスクをしておきの運営になりました。競技者を競技場に長く留まらせないように、トラックレースはタイムレース決勝、フィールドは3回の試技のみで、表彰式は行なわない等の対策を取ってきました。来年が昨年度までと同様に競技会開催がされることを切に願っています。

また、日本陸連から、厚底シューズの規定が出され、トラックレースでの靴底の厚さが制限されました。11月末まではロードレース同様40mmまでの厚底が認められていましたが、12月からは800m以上のレースでは、25mmまでの厚さになります。今後試合用の靴(スパイクを除く)を購入する場合は気をつけてください。スパイクについても種目により靴底の制限(陸連のホームページをご覧ください)があります。今後ルールに関して変更があると思いますが、3月の審判伝達講習会で確認をお願いします。

競技会に関するいろいろなお声をいただいておりますが、よりよい競技会運営のために取り組んでいきたいと思っております。

競技委員会では来年度の競技会日程の調整準備に入ります。パロマ瑞穂スタジアムが改築になり、北陸上競技場が主会場になります。2026年までご不便をおかけしますが、ご協力をお願いします。(榊原 茂)

施設・用器具委員会

例年4月に開催していた施設用器具委員会を、6月29日に瑞穂スタジアムで開催。新型コロナウイルスの感染予防対策をしながら、21名(欠席5名)の参加で実施。以下は概要。

開会あいさつ 青木施設用器具委員長

日本陸連の指針にしたがって、瑞穂では、7月4～5日の県混成・リレー選手権から再開します。開催に当たって

は3密対策を十分実施し、瑞穂管理事務所と連携して全員のモデル大会となるように進めることで、無観客で実施します。競技場各部署での対応が大変ですが、選手のため安全に競技会が進行するよう新しい大会運営にご協力ください。短時間ですが各競技場の報告を中心に、効率の良い実のある会議になるようご協力願います。

会議内容

1. ルール改正内容の説明
2. 全国技術役員会報告
3. 2020検定スケジュールについて(青木)
4. 各陸上競技場の課題について各担当者より課題・改善点の説明。

【一宮(松井)】

- ・用器具庫が手狭のため改良を管理事務所へ提案したが、予算が無いので屋外での仮保管対策を検討中。
- ・屋外での小学生用のハードル仮置きで錆が発生し使用に支障をきたすので、対策を検討中。
- ・5月の突風で投擲ネットが転倒して故障が発生して使用不可となり、ニススポーツに修理を依頼中。

【知多(名倉)】

- ・2022年3月の2種更新に向け、7/12日陸連の検定員による事前指導を計画中。調査結果によって改修工事の内容と実施時期の見直しが必要となる。

【半田(八田)】

- ・青木検定員から、レーン幅等の改善指導を受けたトラックのウレタン全面改修工事を計画中。
- ・2019年11月から2021年3月まで改修工事を実施予定。

【刈谷(澤辺)】

- ・夏芝と冬芝で成長が異なる為、管理に苦労している。
- ・現在芝養生のため、トラックのみ利用可と制限している。

【安城(太田)】

- ・2021年に2種から4種のライトに降格し、投擲利用が不可となる。
- ・2025年3種に復活の予定で折衝中。

【岡崎(大林)】

- ・検定を7/4・5に行ない第3種公認競技場新設として7/6岡崎市長杯開催。9/6正式オープンする。
- ・芝養生の為フィールドは来年6月まで使用禁止と制約有り。

【豊田(上田)】

- ・来年度トラックレーン幅1.22mに改修予定あり。
- ・投擲用はかりが検定不合格のため、補正して良好となる。各競技場でも一度確認が必要。

【豊橋(中村)】

- ・8月6日から対外試合中止となる。
- ・11月からトラックとフィールドの全面改修工事に入る予定。

【春日井(柴田)】

- ・2021年7月競技場オープンで工事中。
- ・投擲可能の人工芝採用。バックストレートでの100m逆走可能な設計となる。

【中京大(青戸)】

- ・室内陸上競技場トラック4レーンで公認予定。

(1) 2020年度今後の検定予定

- ①第4種安城市陸上競技場(2月予定)

クラブ紹介④ I.A.R.C 【Infinity Athlete & Running Club】

I.A.R.Cは西三河を活動拠点として刈谷市に本部を置く市民ランニングクラブチームです。2020年12月に創設10周年を迎えます。また、この4月に名古屋を活動拠点とする「I.A.R.C名古屋」を新たに創設しスタートしました。

チーム名の由来は「無限大の可能性を持つ選手の育成と競技力向上を目指すアスリートとランニングを楽しむランナーを集結したクラブ」という意味で名付けられました。平均年齢は26歳と非常に若いチームです。選手及びスタッフは総勢30名で、殆どが社会人で働きながら活動しています。種目は中長距離の選手中心で箱根駅伝、全日本大学駅伝、全国高校駅伝、インターハイ等の経験者が数多く在籍しています。また初心者で加入する選手もいます。

活動は記録会等のトラックレース、マラソン、駅伝大会等のロードレースなどへの出場を目指しています。大会以外の日曜日に大高緑地に集まりクロスカントリートレーニングを中心に練習会を実施し、平日は勤務後、各自でトレーニングや、選手同士で声を掛け合って合同で実施しています。また夏と冬には合同合宿を実施し強化を図っています。その中で交流制度を設け、高校生や大学生、他クラブ選手との交流も盛んに行なっています。

最近の主な実績として、2019年愛知駅伝では各市町村より関係選手8名が選出、愛知陸協駅伝大会優勝、「ジャ

パン駅伝ツアー東京ファイナル」で優勝し市民ランニングクラブ日本一になりました。競技力強化の一環で出場した階段レースのミッドランド及びあべのハルカスSKYRUNの2大会での団体優勝等もあります。個人ではトラックレース以外でも全日本びわ湖クロスカントリー大会入賞、各地域ロードレース優勝等、各大会で活躍をしています。「個と集団の力を無限大に広げ、最強の市民ランニングクラブ」を旨とし活動しています。

今後も愛知陸上競技協会並びに本クラブ所属選手の出身学校指導者、交流クラブ等の皆様方のご指導を賜り一層の精進をしております。

クラブについてのお問い合わせは下記連絡先にメールをいただければ対応させていただきます。(佐藤 円)

連絡先：I.A.R.C本部企画室 i.a.r.c@outlook.jp
名古屋支部：i.a.r.cn@outlook.com



夏季強化合宿スナップ(茶臼山) クロスカントリー練習後(大高緑地)

- ②第3種豊橋市営陸上競技場(2月予定)
- ③第3種半田運動公園陸上競技場(2月予定)
- ④中京大梅村室内陸上競技場(11月29日)
- ⑤第3種中京大梅村陸上競技場一部変更(棒高跳)(11月予定)
- ⑥第3種中京大梅村陸上競技場事前指導(11月予定)
- ⑦知多競歩路一部変更(11月予定)
- ⑧名古屋ウィメンズコース検定検討中(掘留橋車線変更の工事時期との関係)

(2) パロマ瑞穂北陸上競技場等改修についての中間報告

本陸改築が2021年4月よりスタートします。瑞穂での陸上競技会は、すべて北陸で開催されます。北陸の整備要望書を名古屋市長に提出して(2018.11.2)教育委員会スポーツ振興課からスポーツ市民局と検討を数回重ね、現在は予算決定と業者選定中です。また、11月から備品・用器具の破棄手続き、来年3月に本陸から北陸への備品・用器具の移動がありますので、皆様のご協力をお願いします。

現在進行中の整備内容は、以下のとおりです。

<確定していること>

- ①電光掲示盤の改修(2021年度予算)
- ②インカム、コンピュータシステムの運用における電気関係改修
- ③器具庫の増設(仮設2ヶ所)
- ④電子機器関係の収納場所の確保
- ⑤レク広場で、投てき種目の練習、公認大会が可能になるように整備

- ⑥ホームストレートでの逆走電気配線(2020年度予算)と全天候舗装(2021年度予算)

<課題要望中>

- ①競技役員と補助員待機部屋の増設
- ②雨天、雷雨、熱中症等の対応施設の確保
- ③雨天ウォーミングアップ場の確保
- ④北陸とウォーミングアップ場と本陸との動線を「簡単かつ明快」に確保
- ⑤レク広場で、投てき種目の練習、公認大会が可能になるように整備

(青木 実)

審判委員会

今年度前半は、昨年度末から世界を震撼させた新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の急速な感染拡大により、6月末まで県内の全ての大会が中止となりました。

7月からは、日本陸連の「陸上競技活動再開のガイドライン」にそって、安全で安心な大会運営を旨とし、感染予防に万全な体制をとっての再開となりました。密閉・密集・密接を避ける三密対策や共有物品の消毒、手洗い、マスク着用の呼びかけ等、今までと違う雰囲気の大大会となりました。さらに、無観客、補助員無し、選手は種目ごとに指定された時刻に競技場へ入場し、競技終了後は速やかに退場するなど新たな行動様式を取り入れた大会運営を行ないました。入場時には競技役員・選手ともに検温・消毒・体調管理チェックシートの提出等を課しました。従来健康で安全な社会の良さを実感しております。一日も早い新型コロナ

新型コロナウイルス感染症終息と通常の形での競技会実施を願っています。

さて、パロマ瑞穂スタジアムが2021年度からアジア大会に向けての改築工事に入るため、現競技場での最後の大会であり、愛知陸協にとりましても今年度のトラック&フィールド競技会の最後の大会となる、「愛知県小学生陸上競技選手権大会」が、11月3日(祝・火)に実施され、無事終了することができました。先に述べましたとおり、今年度は実質審判員のみでの競技会運営となりました。審判員の皆様には大変ご無理をお願いしましたが、快くご協力いただきましたことに、改めて感謝いたします。

今年度も各競技会において、審判出席希望者が審判必要数を常に大幅に上回り、各大会で多くの審判員の方に、お断りする事態となりました。紙面を借りまして、お詫び申し上げます。来年度も皆様方のお力添えをお願いいたします。その一方で、無断欠席者も増加しています。まことに恐縮ではございますが、欠席なさる場合には、事前に審判委員会までご連絡くださるようお願いいたします。

(櫻井 一美)

選手強化委員会

日頃より選手強化部の活動に対し、ご理解・ご協力いただきスタッフを代表しお礼申し上げます。

本年度強化事業である国民体育大会の中止をはじめ、ジュニアオリンピック・日本選手権リレー大会・男女都道府県対抗駅伝と選手の皆さんも目標としている数々の大会が中止となり、歯がゆい時間を過ごしております。ただ自粛期間中も、オンライン会議や少人数での会議も実施しながら、ピンチをチャンスと捉え新たな取り組みについて検討しております。愛知陸上競技協会ホームページを活用し、強化部の目標である①指導者の養成②強化選手の継続的コミュニケーション③選手の普及・指導を実現するために、各ブロック主任と意見を交換・集約が進んでおります。本年度中のスタートを目ざしておりますが、来年度には実現できるようしっかり検討を進めて参ります。

最後になりますが、今後も本県全体の陸上競技の競技力向上と普及・発展を目標に、強化活動を推し進めていきたいと考えます。更なるご支援、ご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

(明星 光信)

記録・情報処理委員会

トラックシーズンを終えて

大会運営・記録管理また競技会終了後の迅速な記録報告、ありがとうございます。今年度前半は、新型コロナウイルス感染症予防のために多くの競技会が中止になりました。また、学校での部活動の活動制限や競技場の使用制限などがあり、十分な練習環境ではありませんでした。しかしその中で、中学校日本記録や県記録が誕生しております。コロナ対策というこれまでにない運営方法を強いられた中で、選手ファーストで当たっていただいている役員の皆様のおかげと感謝しております。

記録管理面では、ほとんどの大会が電子申請に対応していただきありがとうございます。なお、申請される際には今年度の大会コード・競技場コードを確認して入力をお願いします。また繰り返しになりますが、ハードルの規格に

ついては要項やデータに100mH(76.2cm_8.0m)のように、高さインターバルの記載・設定をお願いします。

2020年1月1日から10月31日まで、日本陸連データベースで確認できた県新記録。

《愛知新記録》

男子

一般男子

3000m 7.53.09 竹内 大地(トエネック)
[ホクレンディスタンス・チャレンジ第1戦(北海道) 7/4]
5000mW 18.34.88 山西 利和(愛知製鋼)
[第68回全日本実業団対抗選手権(埼玉) 9/19]
4×100mR 39.45 中京大
(杉本大騎・稲葉光志・川端魁人・佐藤智博)
[第89回日本学生対校選手権(新潟) 9/11]

一般女子

300m 38.41 吉田 紗弓(AC一宮)
[第17回田島直人記念競技会(山口) 10/18]

高校男子

110mH 14.05 高橋 遼将(中京大附中京高)
[第80回愛知選手権兼国民体育大会選考競技会(愛知) 7/19]
4×400mR 3.08.85 中京大附中京高
(桂木大和・鈴木大河・高橋遼将・稲川慧亮)
[全国高校競技会リレー競技(神奈川) 10/18]

高校女子

1000m 2.53.39 青山 理奈(中京大附中京高)
[第8回中京大学土曜競技会(愛知) 2/15]

中学女子

100mH 13.76 林 美希(岡崎翔南中)
[全国中学生競技会(神奈川) 10/16]
四種競技 3233 林 美希(岡崎翔南中)
[全国中学生競技会(神奈川) 10/17]
2975 田島七里香(TSM)
[第66回全日本中学生通信陸上競技愛知県大会(愛知) 8/29]
(石鎚 一則)

年誌資料・広報委員会

7月末発行予定でした愛知陸協広報第51号は、新型コロナウイルスの感染予防のため4月から6月まで競技会が実施されなかった関係で、この11月末発行としました。ご了解ください。

(新見 精三)

各地区報告

名古屋地区陸上競技協会

トラックシーズンをほぼ終えて

2020年のシーズンは新型コロナの影響で4月の記録会、6月の県選手権予選会などことごとく中止となりました。地区陸協の主催として行なわれたのは10月3日の秋季記録会が初めてでした。名古屋地区陸協主催大会として初めての開催上苦慮した部分もありましたが無事終了することができました。続いて10月17日・18日には名古屋地区選手権が気温14度小雨の降る中、選手2600名を集めて行

ないました。この大会では2019年度の名古屋地区陸上競技協会の表彰を行ないました。表彰者は以下の通りです。(敬称略)

優秀審判員：脇田 千鶴
 優秀指導者：寺島 貴(瑞陵高校)
 兵頭 賢宏(伊勢山中学校)

優秀選手賞：八木 一憲(みかん山)
 山本 有真(名城大)
 馬場勇一郎(中京大中京高校)
 井戸アビゲイル風果(至学館高校)
 堤 陽菜(東郷 AC)
 坂口 由花(尾張旭西中学校)
 中島 悠太(TSM)
 村田 愛奈(TSM)

パロマ瑞穂競技場は2020年のシーズンをもってアジア大会に向けて改修に入ります。入れ代わるようにして2021年7月に春日井市に朝宮公園陸上競技場が誕生します。

これまで愛日地区には公認競技場がなく知多陸上競技場を借りて競技会を開催してきましたが、来年度からはその心配もなくなります。朝宮公園陸上競技場は全天候トラック、投擲対応人工芝の競技場として整備されることになっています。なおスタンドには1500人の観客席が設けられ芝スペースを含めると約3000人が収容できるとの報告を、担当の柴田先生より伺っています。朝宮競技場に関しては後日柴田先生より報告させていただく予定です。

(砂子間英明)

尾張陸上競技協会

尾張陸協は昨年までとほぼ同一の役員体制(理事1名変更)でスタートしたものの、緊急事態宣言により第1回記録会を直前で中止せざるを得ませんでした。7月の競技会再開までの間、競技者のみならず審判の方々も、モチベーションの維持にご苦労されたことと思います。そんな中、10月に延期された日本選手権では、尾張出身の競技者が活躍してくれました。男子では400mHの小田将矢選手(滝高→名古屋大→豊田自動織機)が4位、男子ハンマー投の墨 訓熙選手(起工高→中京大→小林クリエイト)が4位、やり投の坂本達哉選手(一宮南高→大阪体育大)が3位、女子では200mの吉田紗弓選手(AC一宮)が5位、円盤投の川口紅音選手(津島高→日本体育大)が4位と健闘してくれました。また全国高等学校陸上競技大会2020には4名が、全国中学生陸上競技大会2020には3名が出場してくれました。弥富中の柴田桃花選手は女子1500mに尾張中学新で6位入賞を果たしました。

尾張選手権の最優秀選手には、男子が棒高跳で尾張新記録で優勝した増田智也選手(中京大)、女子では5000m大会新記録で優勝した坂川真由美選手(AC一宮)が選ばれました。

10月に延期された2020愛知パラ陸上競技フェスティバルは暴風の影響で中止されましたが、綿密な事前準備には敬服の限りでした。来年度は例年どおり5月開催になれば、パラリンピックの直前だけに大いに盛り上がることでしょう。コロナ禍の競技会運営は経費の拡大とともに、審

判員の方々の負担も大きく不安な日々が続いていますが、競技者の笑顔を楽しみに、協力のほどよろしく願いたいと思います。

全国大会に出場した選手は以下の通りです。

全国高等学校陸上競技大会 2020

女子5000mW 岩田 華侑(一宮)
 女子円盤投 中嶋日向子(修文女)
 日高 千鶴(修文女)
 女子ハンマー投 宮川 萌花(修文女)

全国中学生陸上競技大会 2020

男子走高跳 松本 浩幸(AC一宮J)
 男子棒高跳 真島 陸(宮田)
 女子1500m 柴田 桃花(弥富)

今回も尾張陸協の競技会運営上の工夫を紹介します。と言っても、工夫ほどのものではなく日本陸連の新型コロナ対応ガイドラインに沿った対応策です。他の地区陸協でも実施されていることだとは思いますが、2回に分けて報告します。

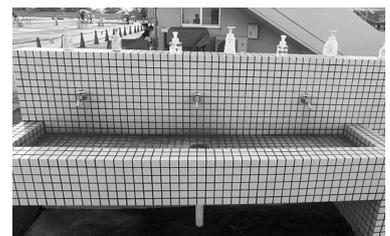
一つ目は、無観客での競技会開催です。まずは、組み合わせ会議や顧問会議、陸協のホームページなどで周知に努めました。それでも試合当日には、競技場を取り囲むフェンスに保護者と思われる人たちが群がる状況が起きましたので、高体連委員の人たちと協議のうえ柵(写真)を設けることで密になることを防ぐ手立てとしました。



二つ目は検温です。あらかじめ日本陸連作成の記入用紙に健康状態を記入しておいて提出してもらおうのはもちろんですが、マーシャルの人数を増員して、競技会当日の入場の際に一人ひとり非接触型の検温器で体温を測定しています。ガイドラインに沿って競技会当日には必ず看護師さんに来ていただいていますので、用紙の記入事項や当日の体温に疑義がある場合は判断を仰いでいます。



三つ目は、手洗いです。競技会場への出入り口はスタンドの東と西の脇に二ヶ所あるのですが、手洗い場・足洗い場は西の入り口近くにしかありません。



そこで東の入り口を閉鎖し、入場後に手洗いができる動線を作りました。また、もう一つ動線を用意しました。ゴールが東側にありますので、競技終了後の手洗いのためにはどうしても審判控え席の前を通らなくてはなりません。審判業務の妨げになるという理由で以前は選手が審判控え席の前を通るのを禁じていましたが、手洗いのために審判控

学校訪問④① 桜丘高等学校 東三河の有力校

今回は、東三河の有力校である桜丘高等学校です。2016年の全国高校総体(岡山)では、男子400mで小久保友裕選手が46.67で全国制覇を果たしています。また昨年の東海地区の新人戦(パロマ瑞穂)では、新垣颯斗選手が400mと400mHの二冠に輝いています。今年の東三河地区新人戦でも、男子がトラックの部、フィールドの部ともに2位で総合の部も2位。女子もフィールドの部2位で総合の部4位と活躍が続いています。その桜丘高校を、県の新人戦に向けて練習に熱が入る地区新人戦の翌週の土曜日に訪問しました。

訪問して最初に部員たちの集合場所に行ったのですが、その前には30m×30mほどのグラウンドとも呼べないようなスペースがありました。まさかここが練習場所? と思いましたが、なんとその場所で練習開始前のミーティングと私の紹介が行なわれたのです。どうもここが陸上部に割り当てられている練習場所のようです。こんな狭い場所でどうやって力を付けているのだろうと不思議に思うばかりでしたが、そこは有力校です。狭いスペースを補う手だてがいくつもありました。その報告をします。



狭いグラウンド



ウォーミングアップ

ウォーミングアップは、その狭いスペースで行なわれました。軽いジョグと体操の後、ダイナミックストレッチと呼べる種目と動きづくりの補助運動とが10種目以上組み合わされて行なわれました。30分ほど時間をかけていたでしょうか。中にはハードルを使った種目もありました。投てきのグループも同じように時間をかけて、集合場所のところでじっくりと体幹トレーニングをしていました。顧問の滝川一尚先生は「故障を減らすため、体幹トレーニングを取り入れています」また「夏場と冬場ではアップの量を変えていますよ」とおっしゃっていました。「無事これ名馬なり」と言いますが、練習に空白期間ができてしまっただけでは痛手です。その後で流しとなりましたが、狭いグラウンドを取り囲む敷地内の通路をうまく利用していました。投てきのグループも、後半部分の少し坂になっている箇所ダッシュに近いような勢いで走っていました。

狭い空間でも工夫すれば有効に利用できるものだと思っておりましたら、ここからが強さの秘訣と言っただけではいけません。場所を移動しての練習となったのです。短距離・中長距離グループはジョグで10分もかからないような場所にある八幡神社の境内へ、投てきグループは自転車で学校所有の緑ヶ丘グラウンドに場所を移しました。こちら10分とかからないところでしょうか。二手に分かれたので全ての練習内容を目にするにはできませんでしたが、確認できた内容を報告します。



通路を使った流し

まず初めに八幡神社について。八幡神社は高台にあって、二つの登り口があります。一つは、徒歩で登る140段の階段。もう一つは、車で境内に上られる200mほどの舗装された坂道。社殿の裏手には森があり、散策道と呼べる道があります。トラック勢はこの環境を余すところなく利用していました。長距離陣はアップダウンのある森の中をまずはジョグ。体感的には2~3度低い中を、アップダウンを利用してトレーニングの効果を上げているように思われました。そのあとで140段の階段上りから坂道を下って200mを上り切るのを5本。短距離勢は、境内から10段の階段を下って社殿の裏手の散策道に回り、最後に40段の階段を上って境内に戻る150mほどのコースを使って、一人5本の4チーム対抗エンドレスリレー。自然の環境を生かしたトレーニングが大きな成果を上げているのだと納得しました。

この後で投てき陣の練習場所の緑ヶ丘グラウンドに移動しました。このグラウンドはサッカー部、軟式野球部と利用が競合する施設なのですが、この日は陸上部の専用利用で、投げ放題といったところでした。投てき競技は投げ込みの本数が技量の向上の鍵になると言えますが、最近では競技場練習であっても自由に投げられる競技場が少なくなっています。この点からすると、思いっきり投げ込みができるグラウンドがあるのは強みです。滝川先生は、「一日練習の日には円盤投なら80本ほど、ハンマー投なら40本ほど投げ込む日もあります」とおっしゃっていました。緑ヶ丘グラウンドの専用利用がかなわないときでも、近くにある豊橋創造大学のグラウンドをお借りすることができるのだそうです。この投げ込みが、新人戦のフィールドの部で男女ともに上位入賞を果たした要因だったのでしょうか。投てき練習の場で目を引いたことが一つありました。それは、移動式のサークルです。サークルと言うと誤解を招いてしまいますが、持ち運びのできる2枚の板(と言っても木製ではありませんが)をつなぐ形のもので、円の端を切り落とした形と言ったらイメージできますでしょうか。選手たちは、その台の上から投げ込みを繰り返していました。有名スポーツメーカーの市販品だそうですが、その板の持ち運びが容易になるように車をワゴン車に買い替えたと言っていました。並々ならぬ意気込みを感じたお話でした。



丹羽先生の指示に
耳を傾ける選手

最後にもう一点記しておきます。多くの有力校で感じてきていることですが、桜丘高校でも顧問の先生と選手たちとの距離が近いなと感じました。短距離・中長距離を主に指導なさっている丹羽将一郎先生の指導場面にも滝川先生の指導場面にも柔らかな雰囲気があり、選手たちは両先生の指示にしっかりと耳を傾けていました。1+1は2とは限りません。3にも4にもなっていきます。顧問の先生と選手たちの関係が今後も大きなパフォーマンスとなっていくのだろうと思いつつ、私はグラウンドを後にしました。

(取材・文責・写真 大西敏功)

え席の前を動線とし、競技終了後に必ず手を洗うことを求めています。審判控え席の前が直接の動線にならないフィールド種目の選手にももちろん、手を洗うようにと競技終了後に担当の審判員が指示を出しています。

(青山 充資)

西三河陸上競技協会

新型コロナウイルスの感染拡大は、西三河地区の小・中・高校生の部活動にも大きな影響を与えました。新年度早々、3か月に及ぶ活動の自粛や成果を発揮する多くの大会が中止になりました。受験との両立に不安を抱えながら、完全燃焼しようと部活動に励む高校生もいたことでしょう。

大会中止や感染への不安、部活に対する社会の風当たりなどがある中、新型コロナウイルスの感染拡大によって“最後の大会”が中止になった高校生のために、7月に入り「思い出作りの場」が準備・運営されました。高校生の部では、自粛期間中に幾度も会議を重ね、コロナ対策を十分に考え、7月23日・24日、西三河高等学校学年別陸上競技大会兼2020全国高等学校リモート陸上競技選手権大会等を開催しました。また、中学生の部においても、県通信陸上や県ジュニア大会の出場権を得るために西三河中学校春季陸上競技大会、西三河中学校夏季記録会を開催、そして小学生の部においても、県小学生選手権大会の出場権を得るために西三河小学生陸上競技選手権大会、西三河小学生記録会を開催してきました。このように、競技者の頑張りとともに、運営に携わった競技役員の皆様の例年にならぬご努力とご配慮に対し心より感謝申し上げます。

そんな状況下、10月16日から行なわれた「全国中学生陸上競技大会2020」(横浜日産スタジアム)においては、優勝者3人を含め6人の入賞など、西三地区の選手たちが素晴らしい活躍を見せてくれました。その中でも、女子四種競技に出場した林美希さん(3年・翔南)は、8月末の県通信陸上で3191点の日本中学記録を樹立、そして、続く全国大会では自身の持つ中学記録を更新(3233点)し、見事に全国優勝を果たしました。



共通女子四種競技で日本中学記録樹立の林美希選手

共通男子

1500m 優勝 杉田 晃大(3年・竜海) 3.59.03

共通女子

1500m 優勝 小嶋 聖来(3年・六ツ美北) 4.26.31

四種競技 優勝 林 美希(3年・翔南) 3233点

(100mH:13.76 走高跳:1.64 砲丸投:11.19 200m:25.64)

—日本中学新記録

共通男子

砲丸投 6位 松田 流輝(3年・福岡) 14.31

共通女子

1500m 7位 林 彩夢(2年・鶴城) 4.28.48

100mH 8位 片山 心菜(3年・城北) 14.52

また、10月23日から開催された「全国高等学校陸上競技大会2020」(広島広域公園陸上競技場)においても、地区出身の安城学園高校の2人が見事入賞を果たしました。

共通女子

800m 2位 小山 愛結(2年・安城学園) 2.09.48

1500m 6位 磯部 早良(2年・安城学園) 4.29.22

さらに、11月1日に行なわれた「全国高校駅伝県予選会」(一宮市大野極楽寺公園)では、安城学園(磯部早良・竹田実紗・小山愛結・永谷千宙・杉浦花音)が、全区間で区間賞を獲得し、見事に初優勝。12月20日に京都で開催される全国高校駅伝の切符を手に入れました。全国大会での活躍が期待されます。

これで、トラックシーズンが終わり、駅伝シーズンを迎えます。コロナ禍の中で、大会運営に携わっていただいた審判員の方々やトレーナーの方々、そして、事務局を担当し、競技会の準備・運営の中心を担った皆様に感謝申し上げます。

現在、すでに来年度の競技会日程や競技場の確保に向けて交渉を進めています。まだまだ心配される新型コロナへの対策を十分に考慮し、競技日程・競技種目などを検討していきたいと思っております。(太田 一弘)

東三河陸上競技協会

令和2年 主な役員一覧表(令和2年1月12日 東三河地区理事会)

会 長	夏目 輝久	
副 会 長	伊藤 朝一・鈴木 政男・伊藤 博之・井上 兼久・手嶋 修次	
理 事 長	兵藤 重二	
副理事長	仲井 雅弘	
理 事	小・中・高・一般・地区代表・女性の各理事を選出	
会 計	山本 陽子	
秘 書	中西 征裕・山本 誠司・山本 陽子	
専門委員長	総 務	山本 誠司
	競 技	横地 勝
	審 判	鈴木 俊也
	記 録	鈴木 信弘
	施 設	中村 昭広
	強 化	鈴木 克哉
	マスターズ	北河 紀人

上記のように令和元年・令和2年の東三河陸上競技協会の主な役員が決まりました。新スタンドを建設し、平成30年4月1日よりリニューアルオープンした豊橋陸上競技場ですが豊橋市のご理解とご支援により、本年度10月中旬よりタータンの改修工事が始まりました。令和3年3月中旬には、400mトラック・Bピット・跳躍走路等の改修と検定を終えて、供用開始できる予定です。更に棒高跳マット一式・ハードル(85台)が一新される予定です。また、全国主要大会で導入されている電子音によるスタート器具の導入も前向きに検討していただいております。全国大会をみざす選手のみならず、幼少期に地方の競技場で電子音によるスタートを経験できることは嬉しい限りです。

この様な施設の充実に甘えることなく、東三河の陸上競技のメッカとして選手が利用しやすい競技場を豊橋市と手

を携えて目ざしてまいります。

【令和2年の主な目標】

- コロナの収束を願いつつ、選手と関係者の安全・安心のできる大会運営を行なう。
- 競技場において指導者・選手が使いやすい器具の充実を計る。
- 豊橋陸上競技場内のコンディショニングルームやクロコランコースを積極的に活用して、東三河から全国大会へ更には日本・世界へ羽ばたけるようなジュニア選手の育成を図る。
- 部活動の縮小や制限、廃止の動きが有る中で、陸上競技をやりたい子供達の意欲を失わせないような組織の検討やクラブチームの活性化を図る。
- 2020年東京オリンピック(2021.7～8月実施予定)・パラリンピック(2021.8～9月実施予定)への参加。
2024年パリオリンピック・パラリンピックを見据えた選手育成を行なう。
- 大学(一般)・高校・中学・定通制・小学生・マスターズ等の全国大会への多数出場を目ざす。
- 研究会・講習会・全国大会へ選手・会員を派遣して、選手及び会員の資質向上を図る。
- 公認審判員の取得者増員とそれに伴う支援を継続する。
(夏目 輝久)

これらの成果の背景には、選手の努力、日々指導されている先生方の熱意と指導力、選手のご家族の支えによる所が最も大きな要因であることはいうまでもありません。また、各地区での小中学生の強化普及活動が結果となって表れてきているのではと感じます。

中体連陸上競技部としては、これからも小学校、高校カテゴリーとの連携、つながりを大切にし、より多くの選手が全国大会に出場し、活躍できる下支えをしていきたいと強く感じております。

○例年実施されていた「日本陸連 U16 東海ブロック合宿」が中止となりました。日本陸連からの補助金が今後廃止されることが決定しており、次年度以降の開催については未定となっております。東海4県のトップ選手約160名が集い、レベルの高い練習を行なうことで東海地区の競技力向上につながっていたため、非常に残念です。来年度以降も合宿を含め、競技力向上へ向けた取り組みが実施できるように、県ジュニア強化部と連携しながら進めていきたいと思っております。

○令和3年度の全中大会(茨城)での参加標準記録の引き上げは検討されていません。全中大会については、令和4年度が福島、令和5年度が四国での開催が決まっています。また、従来のジュニアオリンピックは、U16日本選手権として継続実施されていくこととなりそうです。男女での種目の統一、標準記録の改訂があるとのことです。
(佐橋 弘晃)

関係団体報告

中小体連

- 全国中学生陸上競技大会 2020 (10/16～18 横浜)
全国中学生陸上競技選手権が中止となり、代替大会として従来のジュニアオリンピックの日程・会場を用いて、競技種目や競技方法を変更して実施されました。中学生としては、唯一開催される全国大会として、各方面から喜びの声が上がるとともに、競技に対するモチベーションの向上へとつながったと感じました。
今大会の成績としては、女子新四種競技で岡崎翔南中の林美希選手が3233点の日本中学新記録で優勝し、最優秀選手にも選ばれました。また、男女の1500mでは杉田晃大選手(竜海中)、小嶋聖來選手(六ツ美北中)がそれぞれ優勝しました。
その他にも14種目で入賞しており、愛知県選手の活躍が目される場面が多くありました。

- 第66回全日本中学生通信陸上競技大会 アシックスチャレンジカップ
例年、各都道府県で全日本中学校陸上競技選手権大会の予選を兼ねて開催されてきた「第66回全日本中学校通信陸上競技大会」を7月からの競技会再開に伴い、「第66回全日本中学生通信陸上競技大会」として、できるだけ多くの選手が出場できるように競技会の開催期間などを変更し実施されました。

最終的な各種目の順位を得点化し都道府県別で集計したところ、男子が32.5点の第4位、女子が66点の第1位、男女が98.5点の第1位という結果になりました。

高体連

令和2年度トラックシーズンを振り返って

突然の学校休校から始まった本年度ですが、どのように進展していくのか全く予想がつかせませんでした。6月いっぱい競技会開催自粛、その後の競技会開催にあたってのガイドラインの順守等、どれも未知のものでした。また、全国高校総体の中止の決定は、選手にとっても非常に重い、耐え難いものでした。

高体連は、7月初めに中体連と共同で今シーズン最初の大会を愛知陸上競技協会のご厚意で実施させていただきました。一部の選手に限られていましたが、いかに3密を避けて大会を実施するか、非常に難しい状況のなかで試行錯誤の中での大会運営でした。競技者には競技開始2時間前に入場し、競技終了後速やかに退場してもらう等、いかに3密を避け、競技場内に人を残さないかを徹底しました。この大会を契機に何とか運営のガイドラインを作り、7月の学年別大会の開催にこぎつけました。6支部の副委員長との会議をライン上などで頻繁に実施し、大会運営についての共通認識を持ちました。また、本来1・2年生の大会でしたが、急遽3年生の部を新設し、また日本陸上競技連盟主催のリモート大会の指定大会にしました。選手、監督には非常に不自由な大会であったと思いますが、皆様のご協力のもと大会を運営させていただきました。3年生の部は、全県6支部で記録を集計し、文部科学大臣賞やスポーツ庁長官賞、愛知県知事賞等の副賞もつきました。参加者を減らさなければならぬことから、一人1種目の参加に限定せざるをえなかったことや、3年生の多くが大会に参加することなく競技を終えてしまった現状を考えると、非常にやり切れない思いを強くしました。

新人戦についても3密対策を実施し、競技会から感染者を出さないように細心の注意をはらいました。競技開始2時間前入場、終了後速やかに退場は皆さんの協力のもと継続しました。800mまでのトラック競技は予選、決勝を実施しましたが、決勝進出者も一度競技場外に退場してもらい、再度入場する方法を実施しました。選手にはかなりの負担をかけたと思いますが、とりあえず、無事に終了することができたと考えています。それ以外のトラック種目はリレーも含めタイムレースで実施しました。フィールド種目についても、競技場所での招集の実施や、控え場所の3密回避、投擲競技の滑り止めの共有禁止等を実施しました。また、すべての種目の競技終了後の手洗いの徹底も実施しました。選手にとっては制約やお願いばかりで申し訳ない気持ちでいっぱいです。

また、厚底シューズについての新たなルール改正があり、対応せざるを得ない状況も生まれました。計測器を急遽作成し、競技者係に対応を依頼しましたが、運営側としてかなりの手間が増えました。3密対策と厚底シューズ対策、「なぜ今。」率直な気持ちです。

愛知県高校駅伝競走大会は場所を一宮に移し2年目です。一宮市役所スポーツ課や大野極楽寺公園、138タワーパークへの開催依頼の挨拶から始まり、尾張支部の藤田副委員長を中心に準備を進めていきました。近い時期に行なわれている138タワーパークマラソンの中止や応援者による3密の発生、タスキの使用等数多くの問題点がありました。とにかく無事に開催することを第1に準備を進め、多方面の方々のご協力により、何とか開催にこぎつけました。応援自粛については、ホームページや監督会議にて広報をしましたが、実際はかなりの人出になっていたように思います。このことは個人の行動にお願いをすることしかできなかったのが、今後の大きな課題となりました。開催にあたり、準備から撤収まで長時間に渡り、ご協力いただいた陸上競技部委員を始め、多くの皆様方に心より感謝申し上げます。

競技結果は、男子は豊川高校が2時間3分55秒の好記録で優勝しました。全国大会でも十分に上位入賞が期待できると確信しています。4位までが2時間10分を切るハイレベルな大会でした。女子は、安城学園高校の悲願の初優勝でした。1区から先頭を譲らない完全優勝でした。女子は優勝が毎年変わるような群雄割拠の時代になってきたように思います。今回残念であった学校も今後の活躍に大いに期待します。

新型コロナウイルスの感染状況が今後どのように変化していくか、先が見通せない中で、大会運営についてどのようにしていかななくてはならないか、不安要素が満載です。高校生の部活動は応援による熱い声援が不可欠だと思います。声援がおくれない、先輩や後輩にエールをおくれない、このような状況がいつまで続くかわかりませんが、選手が安全に競技することができ、成果を発揮できる場を提供できるように、皆さんのご協力のもと努力をしていきたいとします。今後ともご協力をお願いいたします。

(石井 哲郎)

高体連定通部

コロナ禍での定通陸上

今年3月に定通陸上専門部の仕事を引き受けた時には、

このような事態になるとは想像できませんでした。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、夏の県予選も中止、そして全国大会も中止になりました。昨年度の全国大会まで「5年連続男女総合優勝」という輝かしい結果は、まさに愛知県の選手や指導者の方々が、長い時間を陸上競技にかけ積み上げてきた、その結果であると思います。しかし、その大会が中止になったことで、多くの選手たちが目標を失ったことでしょう。今年に向けて地道に練習を重ねてきた選手たちの気持ちは計り知れません。

そのような中、定通陸上は秋季大会を開催することになりました。選手や役員の方々に検温をお願いすることや、入場者の制限をするなど、例年どおりとはいかない状況で、開催するために様々な方面に気を配らねばなりません。暗中模索しながら、準備を進めました。

そして迎えた当日。どうなることかと不安な気持ちでいっぱいでしたが、天候にも恵まれ、スムーズに実施することができました。1年ぶりに知多のグラウンドで躍動する選手たちを観ることができ、開催してよかったと思いました。

無事実施することができましたのも、準備の段階から当日まで様々な場面でご協力いただいた役員の方々、そしてこうした窮屈といえる状況の中でも試合に出場し、成果を出してくれた選手たちのおかげです。この場を借りて、感謝申し上げます。来年度もまだ見通しが立たない状況が続きますが、これまでどおり、地道に取り組んでいくことが大事だと改めて痛感しました。ありがとうございました。



秋季大会の様子

(河村 祐亮)

学連

COVID-19下における2020学生トラック&フィールド

COVID-19の影響で2020シーズン上半期の競技会が中止となり、日常のトレーニング活動も自粛要請の煽りを受け、7月からの競技会再会後も大学によっては、競技活動の休止・自粛が続いた(表1)。日本陸連をはじめとした各競技団体でも具体的な感染症対策が練られ、無観客や短時間開催などの対策を参考にしながら、日本学連では、9月に予定していた日本インカレ(新潟)に向けて、大会エントリー資格を再考する形となった。感染症対策としては、新常識となった競技会前の2週間の検温記録、および健康チェックの提出は、インカレでも導入された。出場資格は、従来の参加標準記録制に加えて、各種目別に出場枠(ターゲットナンバー)が設けられ、標準記録を突破し、かつ出場枠内に入った選手のみが出場資格を得られる形式となった。また、相次ぐ競技会中止のため記録突破の機会に恵まれない状況にも配慮し、資格記録の有効期間を2018年以降とした(リレー種目のみ2019年以降)。この

判断がどのような形で影響したのかは賛否両論であるが、3日間の全日程を無事に終了することができた。トレーニング不足から選手のコンディションが不安視されたが、大会新記録やU20日本新記録が更新されるなど、充実した内容であった。

競技会再開後、東海学連の最初の競技会となった全日本大学女子駅伝東海地区選考会(刈谷)は、中京学院大学が2大会連続で代表権を獲得した。その中京学院大と共に出場した3連覇中の名城大学は、本大会(10/25, 仙台)では、大会記録を更新し、4連覇を飾った。レース内容は、全6区間中、3区間で区間賞・区間新という圧倒的な強さであった(表1参照)。一方、15位に入った中京学院大の結果を経て、2021年大会の東海地区からの出場枠は1枠から2枠に増枠となった。延期開催となった全日本大学駅伝東海地区選考会では、皇學館大学が総合1位となり4年連続4回目の代表権を獲得した。入学以来、数々の東海学生記録を更新(5000m, 10000m, ハーフ)してきた川瀬翔矢選手(4年; 近大高専出)を擁する皇學館大も東海地区からの出場枠増につながることを期待する。

東海地区のトラック&フィールドの初戦として予定していた夏季大会(刈谷)は、愛知県下に発出された緊急事態宣言期間と重なり、大会中止という判断に至った。夏休みを経て、苦渋の思いで開催に至った東海学生秋季選手権は、例年の2日間開催から大会会場を岐阜と愛知(知多)に分けて、競歩種目と混成種目を追加し、全4日間で開催した。東海インカレや西日本インカレが中止となった今シーズンであったが、規模は小さいものの競技会に参加し

た選手、および東海学連関係者としても満足できる形となった。本誌を借りて、愛知陸協および岐阜陸協の関係者には感謝申し上げます。

表1: COVID-19による競技会の扱い(2020年10月28日現在)

大会名(開催日、会場)	実施状況	主な結果
4~7月(競技会開催中止期間) 東海学生春季大会(刈谷)、東海学生対校(パロマ)、日本学生個人選手権(平塚)、西日本インカレ(岐阜)	中止	
8月(競技会再開後) 東海学生夏季大会(刈谷) 全日本大学駅伝東海地区選考会(刈谷) 全日本大学女子駅伝東海地区選考会(刈谷) 日本インカレ(新潟)	中止 開催 開催 開催	2日間開催で再計画したが、中止。 6/14開催を中止し、9/22に開催。 中京学院大が東海地区代表。 【女子】1500m 優勝(高松智美ムセンビ, 名城大)、10000m 優勝(加世田梨花, 名城大)、【男子】走高跳 優勝(蛭子屋雄一, 中京大)、三段跳 優勝(伊藤陸, 近大高専) ※U20新記録
出雲選抜駅伝(出雲) 全日本大学女子駅伝(仙台) 全日本大学駅伝(熱田~伊勢)	中止 開催 開催	名城大学4連覇

(黒須 雅弘)

実業団

実業団についても、新型コロナの影響で春先の大会が次々に中止又は延期となり、調整が難しい年になりました。今年の実業団の大会の中で、全日本実業団・日本選手権を中心に報告をさせていただきます。

まず、9月に延期された全日本実業団選手権では、

ホープさん ④④

菅沼 玲央 選手(豊橋東高)

今シーズンは新型コロナウイルス感染症の影響で全国総体がなくなりました。菅沼選手も大学受験への切り替えをするために7月のシーズン初戦こそ出場しましたが、それ以降は引退をして学業に専念しています。そのため彼の紹介等々につきましては昨年度までの話が中心となりますのでご了承ください。

菅沼選手は昨年度、2つの全国大会で入賞をすることができました。1つは8月に大阪で行なわれた全国選抜大会の男子600mでの7位入賞。ちなみに600mは県記録一覧にはありませんが、予選での1分20秒17というタイムは県記録になるかな?と思うほどの好記録でした。もう1つは10月に広島で行なわれたU18日本選手権の男子800mでの6位入賞です。ただ皆様を知ってほしいのは、菅沼選手は200・400mをメインとするスプリンターなのです。普段の練習では300m以上の距離を走ることは少なく、中距離的な練習もしていない中でのこの結果は、指導者としても、彼のアスリートとしての潜在能力の高さにただただ驚かされました。

しかし、菅沼選手も入学当初から活躍できたわけではありません。そんな彼が力を大きく伸ばすことができた要因は1年時の2つの大会があると思います。東海総体の4×400mRとジュニアオリンピック(JO)の200mです。東海総体では初めてリレーメンバーに選ばれましたが、あと一步届かず7位でインターハイ出場を逃しました。JOでは8位入賞こそしましたが、緊張からかレース前にはひたすらキョロキョロと周りを見渡すなど自身の力を全く発揮できませんでした。この2つの苦い経験が彼を大きく成長させ、全国クラスの選手にまで導いてくれたのだと思います。

さて、彼は今、進学に向けて学業に励んでいます。大学での競技継続に向けてコツコツ練習もしているそうです。本校は一公立高校であるため決して恵まれた環境ではなく、また私自身の指導力としてもまだまだ未熟であったので、彼の能力はまだ出し切れていないと思います。そのため大学へと進み、より良い指導者・環境の中に入って採まれていくことで彼がさらに大きく成長し、愛知や日本を代表するような選手へと変わってくれればと願うばかりです。皆様もぜひ菅沼玲央選手の今後の活躍を楽しみにしていただければと思います。



昨年度東三河選手権マイルリレーにて 昨年度東海新人マイルリレーメンバー
(中川 恵輔)

5000m 競歩の山西利和選手(愛知製鋼)が18分34秒88の日本新・大会新で優勝、棒高跳の山本聖途選手(トヨタ自動車)も5m50で優勝しました。また、1500mの木村理来選手(愛三工業)が3分41秒85で、400mHで小田将也選手(豊田自動織機)が50秒18で、円盤投の湯上剛輝選手(トヨタ自動車)が53m99、ハンマー投の墨訓熙選手(小林クリエイト)が67m17でそれぞれ2位に入賞しました。加えて3000mSCの山口浩勢選手(愛三工業)が8分25秒34で大会新の3位となりました。長距離では、10000mに出場した服部勇馬選手(トヨタ自動車)が日本人トップの27分47秒55の自己新記録で7位に入りました。実業団選手権は、男子の活躍が目立ちました。

10月の日本選手権では、棒高跳の山本聖途選手が5m60と1位と同記録ながら2位。円盤投の湯上剛輝選手も56m57の記録で2位を確保しました。

10月24日の木南グランプリでは、400mHの小田将也選手が49秒79の好記録で優勝を果たしました。

トラックシーズンは、終わりとなりますが、これより駅伝のシーズンに入ります。男子では、ニューイヤー駅伝、女子ではクイーンズ駅伝となりますが、愛知県チームの上位入賞に大いに期待をいたします。



小田将也選手
(豊田自動織機)

山本聖途選手
(トヨタ自動車)

山西利和選手
(愛知製鋼)
(中村 博之)

マスターズ陸上

今年を振り返りますと、1月に開催された恒例の新年会では東京オリンピックの話題に話が盛り上がり楽しい時間を過ごすことができました。ところが2月中旬には新型コロナウイルスの脅威で世界中が一転し楽しみにしていたマラソン大会の中止や縮小が発表され、中でも高齢者の重症化が不安視される中、マスターズとしては高齢の会員が多いため特に慎重な判断を迫られることとなりました。その結果4月から開催予定であった愛知マスターズ記録会が中止となり、5月開催予定の愛知マスターズ選手権大会、そして東海マスターズ選手権大会の中止、その後も感染の危機感は解消されることなく8月末に開催予定の記録会も中止が決定となりました。残りは9月20日の記録会のみとなりましたが、今年の会員登録を見ると新規会員が77名、継続会員が421名となり498名の登録となりました。これは昨年最多の登録者数にわずか3名少ない人数となり、競技会が開催されるか分からない中でも多くの方が登録をしてくださりました。そのため競技会が全く開催されることなく1年が終わってしまうことは大変残念であり会員の皆様にも申し訳ないとの思いから、何としても9月の記録会は是非開催をしたいとの思いで役員一同取り組んでまいりました。その結果関係団体の皆様からもアドバイスや助言をいただき、日本マスターズ連合の室伏重信元副会長から

も中止の判断を急ぐのではなく感染防止対策をしっかりとやって競技会開催を前向きに進めてほしい。そして会員の皆さんに元気になってもらいましょうというお話もあり、第79回愛知マスターズ記録会を開催することができました。その結果他県からも多くのご参加をいただき県内の参加者を含めると234名の参加申し込みがありました。特にご参加いただいた方の声としては、愛知の感染防止対策は徹底しており素晴らしいとの声や競技会を開催してくれて有難うございますとの声をいただき、嬉しい思いと同時に少し安心をしました。その後も感染者の報告もなく無事終了できたことは次への大きなステップとなったと思っております。大会結果としましては、県内参加者128名(男116名・女12名) 県外参加者67名(男60名・女7名) 計195名の出場となりました。ちなみに県外から参加された道府県名ですが、北海道・長野・静岡・岐阜・三重・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・鳥取・愛媛・福岡・熊本・沖縄からお越しいただきました。最後に県記録を更新した選手を紹介します。

60m	M25	金原 悠太	27	岡崎市	7.11
	M25	鷺森 勇誠	25	名古屋市	7.12
	W45	酒井あおい	46	名古屋市	8.15
	W60	林 啓海	60	尾張旭市	9.41
100m	W45	酒井あおい	46	名古屋市	13.00
400m	M24	長岡 佑哉	24	高浜市	51.54
5000m	M25	廣瀬 史明	26	みよし市	17.16.08
	M25	田邊 淳平	29	刈谷市	19.02.44
立五段跳	M75	外山 修	75	西尾市	10.10

(下川 勝彦)

OB・OG会

OB・OG会は、その発足目的に「本会は、会員相互の親睦友好を深め、併せて陸上競技協会との交流を図り、陸上競技界の発展に寄与することを目的とする」とし、平成11年(1999年)9月、当時の高橋公一会長を中心に発足しました。現在までに会員総数は211名を数えました。ここ数年は、年1回の定時総会と懇親会、秋の研修会、新春懇親会を各地区世話人の計画と準備で実施してまいりました。普段の大会ではなかなかゆっくりお会いする機会のない皆さんと、OB・OG会行事は、風光明媚な場所やその地の美味に舌鼓を打ちながら、陸上談議や世間話にも花を咲かせたりする一方、健康と病気自慢の時でもあるようです。



入会条件は、「男性は 60、女性は50歳以上の公認審判員の資格を有するもの」となっています。是非、多くの皆さんの入会をお待ちしております。本会への入会希望の方は以下の地区世話人までご連絡いただくか、県陸上協会本部事務所までお問い合わせください。随時、受け付けています。

<尾張>小島末広、杉山裕二 <名古屋>國分一郎、稲垣裕、佐野昭二、小川真一郎、水野 久 <西三河>竹川

正彦、中尾洋一、石田美知枝 <東三河>鈴木 覚、加藤春雄

(水野 久)

競技会報告

2020 東海混成競技・愛知選手権リレー長距離混成・
国体少年選考競技会・高校2・3年競技会
2020年7月4日(土)・7月5日(日)パロマ瑞穂スタジアム

東海混成競技会 (愛知県上位分)

種目	氏名	所属	順位	記録
男子十種競技	丸山 雄太	日福大	5	5030
	長瀬 樹	日福大	6	3755
女子七種競技	田中 友梨	至学館大	1	4911
	清水 はる	中京大	3	4696
	三輪ダリヤ	中央大	4	4619

愛知選手権リレー長距離混成 GR: 大会新

	種目	1位	2位	3位
男子	5000m	鈴木 洋平 13.59.98 愛三工業	富田 直樹 14.13.96 中央発條	安藤 圭佑 14.17.68 豊川高
	10000m	東 瑞基 29.33.64 GR 愛三工業	矢嶋 謙悟 30.14.64 中央発條	雨海 智大 30.16.31 中央発條
	3000mSC (0.914m)	河野 宏樹 9.23.82 TTランナーズ	長谷川 源 9.27.04 名経大高蔵高	浅井 皓貴 9.29.75 豊川高
	4×100mR	中京大 40.27 杉本 大騎 高橋 舞羽 彦坂 洋平 佐藤 智博	中京大中京高 40.48 加藤 隼輝 館野 峻輝 鈴木 大河 河田 航典	トヨタ自動車 40.81 渡邊圭一郎 高野 克哉 新城 健斗 三ツ石達也
	4×400mR	中京大中京高A 3.12.48 鈴木 大河 高橋 遼将 小松健太郎 稲川 慧亮	豊橋東高 3.16.67 櫻井 稜也 菅沼 玲央 山本 晟也 坂口 藍樹	トヨタ自動車A 3.17.21 三ツ石達也 木屋川内浩二 飯田 英夫 長谷川 慎
女子	5000m	山本 彩乃 17.17.59 小島プレス	磯部 早良 17.20.46 安城学園高	安藤 優月 17.34.01 至学館大
	3000mSC (0.762m)	後藤 梨奈 10.55.68 中京大	原 舞奈 11.08.89 東京学芸大	森崎 綾乃 11.23.57 関西外大
	4×100mR	中京大中京高 46.43 藏重 みう 倉橋 美穂 岸本 優花 前田 紗希	至学館大 47.72 安藤 愛未 大城 珠莉 中山 愛理 都築 美音	安城学園高 48.19 山口さくら 手島 美咲 中根 葵 飯田 真衣
	4×400mR	中京大中京高 3.52.59 和佐田真広 山田 晴華 萩原 さや 青山 理奈	至学館大 3.53.17 近藤 七海 大城 珠莉 都築 美音 坂本 彩音	至学館高 3.55.82 小幡 胡実 澤 美羽 坂井 寿々 星川 茉鈴

国体少年選考競技会 (1位のみ)

	種目	氏名	所属	記録
A男子	300m	稲川 慧亮	中京大中京高	34.57
	300mH	高橋 遼将	中京大中京高	37.14

B男子	100m	小島 拓真	名古屋大谷高	11.24
	3000m	松井 寛翔	豊田大谷高	8.40.61
	走幅跳	田中 瑛一	豊橋南高	6.71
	砲丸投	松田 流輝	福岡中	13.30
共通男子	110mH	高橋 遼将	中京大中京高	13.91
A女子	300m	石黒 琳	時習館高	43.41
	300mH	神田 彩名	名城大附	45.64
B女子	100m	藏重 みう	中京大中京高	12.17
	800m	小山 心結	安城学園高	2.17.74
	100mH	林 美希	翔南中	14.02
	走幅跳	松村 琴都	TSM	5.76
共通女子	砲丸投	小原 恵	名古屋大谷高	11.14
	3000mW	片原未紗音	豊明高	14.43.98

高校2・3年競技会 (1位のみ)

	種目	氏名	所属	記録
男子	100m	河田 航典	中京大中京	10.71
	200m	永野 響	長久手	22.29
	400m	新垣 颯斗	桜丘	47.77
	800m	高嶋 荘太	中京大中京	1.53.57
	1500m	稲山 太郎	千種	3.53.80
	110mH	小幡 岳人	名古屋	16.01
	400mH	西山 雄吾	旭野	54.81
	走高跳	伊藤 幹弥	安城学園	2.03
	棒高跳	谷口 柊斗	中京大中京	4.42
	走幅跳	中島 海翔	名城大附	7.37
	三段跳	加藤 隼輝	中京大中京	14.18
	砲丸投	中島 翼	春日井工業	13.78
	円盤投	上村 勇輝	名古屋大谷	41.72
	ハンマー投	小島 健誠	名古屋大谷	57.84
	やり投	横井 太翔	中京大中京	58.88
女子	100m	倉橋 美穂	中京大中京	12.47
	200m	中根 葵	安城学園	26.54
	400m	小澤 紗央	豊川	57.90
	800m	川島 実桜	豊橋南	2.08.53
	1500m	丹羽 琴音	中部大第一	4.42.25
	100mH	松本佳音彩	中京大中京	14.68
	400mH	牧野 和花	安城学園	1.12.60
	走高跳	斎藤みゆに	名城大附	1.59
	棒高跳	齋藤 未来	至学館	2.90
	走幅跳	高橋 好波	三好	5.68
	三段跳	浅井 美和	光ヶ丘女子	12.08
	砲丸投	中島 彩瑛	中京大中京	12.03
	円盤投	日高 千鶴	修文女子	34.77
	ハンマー投	小河 遥花	名古屋大谷	47.64
	やり投	辻 萌々子	名古屋大谷	46.84

2020 愛知県ジュニア記録会
2020年7月11日(土)・7月12日(日) パロマ瑞穂スタジアム

(1位のみ)

種目	氏名	所属	記録
100m	筒井 健人	岡崎城西	11.06
400m	尾張 龍希	誠信	48.73
1500m	鈴木 隆介	名経大高蔵	4.02.78
110mH	加藤 郁斗	菊華	17.79
400mH	岩本 壮汰	菊華	57.53
走高跳	稲垣 敬大	岡崎北	1.95
棒高跳	中村 斗也	豊川	4.00
走幅跳	早川 諒	刈谷	6.28
三段跳	外山呂玖士	小坂井	12.67
砲丸投	モンタド良正	愛知黎明	11.54
円盤投	菊池 竜太	岡崎商業	34.63
ハンマー投	太田 成海	岡崎学園	31.16
やり投	大野 雄士	名城大附	54.72
100m	河東妃真里	岡崎城西	12.73
400m	大岩 愛花	愛知	58.98
800m	星川 茉鈴	至学館	2.15.88
1500m	山口 郁美	愛知黎明	4.55.28
100mH	黒野 唯奈	豊野	16.55
400mH	澤 美羽	至学館	1.04.36
走高跳	横山こころ	岡崎城西	1.60
棒高跳	篠崎 稔里	至学館	3.20
走幅跳	伊藤 凜乃	西陵	4.92
三段跳	加藤 彩也	岡崎城西	11.84
砲丸投	蔵石 美南	椋山女学園	8.83
円盤投	野里 涼香	至学館	33.76
やり投	中島 摩美	一宮北	32.23

中学男子	100m	中山二千翔	東浦北部中	11.22
	200m	向井 悠汰	安城南中	23.39
	400m	久田 凌大	福江中	50.83
	800m	富田 学将	守山東中	2.06.60
	1500m	加藤草太郎	T S M	4.22.71
	110mH	下田 隼人	愛知陸協	14.69
	走高跳	加藤 颯真	猿投台中	1.76
	棒高跳	久世 優空	大須A C	3.92
	走幅跳	森部 諒	富貴中	6.20
	砲丸投	尾崎 涼	大高中	12.52
中学女子	円盤投	根本 陸千	愛知陸協	33.12
	100m	佐藤 俐有	田原陸上	12.11
	200m	林 美希	翔南中	25.85
	800m	森 千莉	浄水中	2.19.68
	1500m	小嶋 聖來	六ツ美北中	4.38.41
	100mH	田島七里香	T S M	14.74
	走高跳	鰐部 茜	知多八幡中	1.56
	棒高跳	岡部 陽奈	ハイテクA C	2.72
	走幅跳	松村 琴都	T S M	5.56
	砲丸投	平岩 里彩	守山中	12.73
円盤投	山田 茉央	愛知陸協	25.73	

第80回愛知陸上競技選手権大会

2020年7月18日(土)・19日(日) パロマ瑞穂スタジアム

男子 (PR: 県高校新 GR: 大会新)

種目	1位	2位	3位
100m	杉本 大騎 10.60 中京大	河田 航典 10.66 中京大中京高	伊藤 弘大 10.67 至学館大
200m	山田 佑輔 21.47 東海学園大	河田 航典 21.48 中京大中京高	佐藤 智博 21.60 中京大
400m	吉津 拓歩 47.24 東洋大	野瀬 大輝 47.47 立命館大	新垣 颯斗 48.08 桜丘高

陸上競技場めぐり⑮

中京大学梅村室内走路

愛知県豊田市にある中京大学豊田キャンパスにこの夏、全長直線 120メートルの屋内走路を備えた新しい6号館が完工した。陸上競技の室内競技会などにも使用でき、授業やクラブ活動はもちろん、学内外での利用法に地域やスポーツ関係者らの期待も広がっている。

新6号館は、2018年2月に竣工の大体育館、同年7月改修のフィットネスプラザに続き、豊田キャンパスの施設整備計画に基づいて新築された。500人収容の大講義室、ダンススタジオとしても利用できる多目的講義室、屋内人工芝グラウンドに加え、前述の屋内走路が設けられた。

4レーンからなる走路は三層構造で、表面が13ミリのゴムチップウレタン複合弾性舗装、中間層はコンクリートシングルD(150ミリ)、下層の路盤が187ミリとなっている。競技会を開催の場合は走路のフィニッシュライン(ゴール)に写真判定装置を設置し、100メートル、60メートル、50メートル走、60メートルハードル種目などに使用できる。

また、屋内人工芝グラウンドは既存の陸連公認陸上競技場に隣接しており、サブグラウンド的に一体的な利用も可能だ。

(青戸 慎司)



直線 120メートル



新設になった室内走路

800m	高嶋 荘太 1.54.02 中京大中京高	宇野 佑亮 1.54.17 中央大	橋本 将弥 1.54.42 同志社大
1500m	馬場勇一郎 3.47.53 GR 明治大	片山 宗哉 3.47.58 GR 愛知高	小林 宏輔 3.49.70 愛知工業大
110mH (1.067m)	高橋 遼将 14.05 PR 中京大中京高	西 徹朗 14.16 名古屋高	岩堀 剛己 14.43 同志社大
400mH (0.914m)	小田 将矢 50.53 豊田自動織機	高橋 遼将 51.19 中京大中京高	伊奈 颯太 51.80 城西大
5000mW	磯部 太一 21.18.63 中京大	小林 貫太 22.04.34 愛知教育大	山田 剛大 22.30.98 名古屋市立大
走高跳	蛭子屋雄一 2.14 中京大	道脇 大斗 2.05 OBU エニスポ	伊藤 幹弥 2.05 安城学園高
棒高跳	榊原 圭悟 5.00 中京大	増田 智也 5.00 中京大	榎 将太 4.90 中京大
走幅跳	南 晋太郎 7.31 愛知陸協	渡邊圭一郎 7.16 トヨタ自動車	坂本 翔太 6.95 みかん山
三段跳	藤林 献明 14.60 愛知陸協	稲田 大空 14.21 東海学園大	津曲 章太 14.18 中京大
砲丸投 (7.260kg)	白藤 聖陽 15.17 日本大	今 祐太 13.77 豊田自動織機	高橋 諒 12.20 名古屋大谷高
円盤投 (2.000kg)	湯上 剛輝 53.85 トヨタ自動車	中井 康二 40.98 中京大	岩野 祐希 40.39 至学館クラブ
ハンマー投 (7.260kg)	墨 訓熙 68.73 小林クレイト	古旗 崇裕 67.54 中京大	中野 峻作 58.22 岐阜協立大
やり投 (0.800kg)	八木 一憲 73.22 みかん山	豊田 将司 67.49 東海学園大	榊原 寛紀 64.33 豊田自動織機

女子 (GR：大会新)

種目	1位	2位	3位
100m	藏重 みう 12.08 中京大中京高	市川 華菜 12.11 ミズハトラッククラブ	高須 鮎香 12.12 山梨学院大
200m	吉田 紗弓 24.16 AC一宮	市川 華菜 24.74 ミズハトラッククラブ	倉橋 美穂 24.98 中京大中京高
400m	吉田 紗弓 54.24 GR AC一宮	小山 愛結 57.19 安城学園高	近藤 七海 57.28 至学館大
800m	小山 愛結 2.09.48 安城学園高	川島 実桜 2.09.73 豊橋南高	萩原 さや 2.10.39 中京大中京高
1500m	磯部 早良 4.30.18 安城学園高	吉田 莉帆 4.30.91 豊川高	林 那優 4.31.14 豊川高
100mH (0.838m)	大松 由季 14.12 愛知陸協	安藤 愛未 14.38 至学館大	古橋 佳奈 14.46 山梨学院大
400mH (0.762m)	九鬼友梨恵 1.00.58 加藤建設	澤 美羽 1.03.42 至学館高	長屋 美月 1.04.83 中京大
5000mW	上森 佳代 24.37.46 中京大	柴田 葵 26.10.50 至学館大	深水 梨保 26.27.24 至学館クラブ
走高跳	小笠原早矢楓 1.65 甲南大	斎藤みゆに 1.60 名城大附高	千葉 玲央 1.60 中京大
棒高跳	渡邊 南月 3.60 日本体育大	所 杏子 3.50 ラフィネ陸上部	水上 真里 3.40 中央大
走幅跳	高橋 好波 5.83 三好高	明星 光 5.72 中京大	浅井 美和 5.60 光ヶ丘女子高
三段跳	浅野紗弥香 12.39 TIS	槽谷 友里 12.27 中京大	浅井 美和 12.26 光ヶ丘女子高
砲丸投 (4.000kg)	近藤 紗南 12.64 中京大	中島 彩瑛 11.28 中京大中京高	
円盤投 (1.000kg)	川口 紅音 46.20 日本体育大	平野 優花 43.99 日本体育大	近藤 紗南 42.28 中京大
ハンマー投 (4.000kg)	大久保春香 49.26 岐阜協立大	平野 栞菜 49.12 中京大	平岩 志萌 48.85 筑波大
やり投 (0.600kg)	田中 友梨 46.00 至学館大	西山 育未 45.98 ゼビオ	榊原 梨子 44.80 至学館大

第66回全日本中学校通信陸上競技愛知県大会
2020年8月29日(土) パロマ瑞穂スタジアム

男子 (GR：大会新)

種目	1位	2位	3位
1年 100m	巻口 周平 11.97 田原陸上	中島 悠太 12.00 TSM	神谷 流星 12.07 TSM
2年 100m	鶴田 晴斗 11.73 葵	浮海 瑛人 11.76 春日井東部	宮崎 遥士 11.77 鳴子台
3年 100m	中山二千翔 11.28 東浦北部	柳瀬 功貴 11.29 末野原	佐々木康太郎 11.40 東浦西部
200m	大場 万央 23.49 豊橋北部	田實 陽翔 23.55 逢妻	荒川 雄太 23.56 豊明
400m	竹森 斗涉 50.27 豊橋中部	久田 凌大 50.50 福江	永田 敦也 51.18 TSM
800m	富田 学将 2.00.04 守山東	畑村 侑壹 2.00.24 大高	黒野 大和 2.03.45 上郷
1500m	杉田 晃大 4.07.08 電海	佐々木 哲 4.11.29 愛工大名電	加藤 快都 4.16.14 安城西
1年 1500m	天野 伸城 4.35.16 大須AC	横畑 僚大 4.35.54 青陵	坂田 剛 4.38.16 平坂
3000m	相地 一夢 9.01.93 六ツ美北	河邊 勇希 9.02.10 千種	辻 陽介 9.05.24 矢作北
110mH (0.914m)	下田 隼人 14.18 GR 牟呂	天野 友貴 14.68 TSM	横山 将也 14.88 名古屋北
走高跳	高木 魁里 1.80 岡崎北	加藤 颯真 1.77 猿投台	松本 浩幸 1.74 AC一宮Junior
棒高跳	久世 優空 4.11 大須AC	3.91 真島 陸 宮田 谷口 海斗 猿投	
走幅跳	五藤 翔 6.44 木曾川	森部 諒 6.40 富貴	谷口 瑠昊 6.17 愛知陸協
砲丸投 (5.000kg)	松田 流輝 14.23 福岡	兵藤 拓郎 13.88 御幸山	尾崎 涼 12.86 大高
円盤投 (1.500kg)	根本 睦千 32.08 味美	木村 建太 26.42 当知	春日井 宗 24.35 宮田
ジャベリックスロー (0.300kg)	栗田 青空 60.22 愛知陸協	杉浦 青空 52.16 西尾	富田 来樹 48.85 知立南
四種競技	鈴木 權斗 2468 TSM	今井 海琉 1931 愛知陸協	水谷 そら 1885 港南

女子(NJH：日本中学新 PJH：愛知中学新 GR：大会新)

種目	1位	2位	3位
1年 100m	三輪 琉姫 12.61 トライルAC	佐竹 愛琉 13.07 豊川西部	神谷 朱里 13.08 明祥
2年 100m	佐藤 俐有 12.23 GR 田原東部	岡田 翠 12.75 田原	眞田 あこ 12.91 田原陸上
3年 100m	石倉 実侑 12.71 田原東部	嶋 結菜 12.77 高豊	鈴木 虹葉 12.86 竜北
200m	片山 心菜 26.02 城北	中澤 愛菜 26.32 弥富北	小酒井結菜 26.40 JACT
800m	森 千莉 2.14.31 浄水	江藤 柚葉 2.17.56 刈谷東	菅沼 梨瑚 2.18.37 豊橋東部
1500m	小嶋 聖来 4.27.57 六ツ美北	壁谷 裕奈 4.30.51 電海	柴田 桃花 4.31.21 弥富
100mH (0.762m)	牛田 麻琴 14.81 豊橋南陽	熊谷 実華 14.90 YRC	大和 令奈 15.29 矢作北
走高跳	安藤 奏乃 1.52 電海	鱒部 茜 1.52 愛知陸協	澤 実伶 1.49 平坂
棒高跳	都築 彩花 2.70 鶴城	松本 希 2.70 鶴城	石原 咲季 2.20 東浦北部

走幅跳	松村 琴都 5.80 TSM	渡辺実優花 5.37 木曾川	武井 葉夏 5.35 武倉南部
砲丸投 (2.721kg)	山田 真央 13.67 御幸山	平岩 里彩 12.34 守山	佐々木安里 12.01 豊正
円盤投 (1.000kg)	山田 菜央 28.42 愛知陸協	小栗 由莉 26.03 牧の池	鷲尾也哉子 24.44 瑞穂ヶ丘
ジャベックスロー (0.300kg)	細貝 美桜 43.39 尾張旭西	木村 優星 43.29 竜北	諏訪 帆南 39.72 神丘
四種競技	林 美希 3191 NJH PJH GR 翔南	田島 七里香 2975 PJH GR TSM	太田 結愛 2617 TSM

第68回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会
2020年9月18日(金)～20日(日) 熊谷スポーツ文化公園陸上競技場

男子 (本県3位入賞のみ) (NR:日本新 GR:大会新)

種目	順位	氏名	所属	記録
1500m	2	木村 理来	愛三工業	3.41.85
	3	河村 一輝	トーエネック	3.43.10
400mH	2	小田 将矢	豊田自動織機	50.18
3000mSC	3	山口 浩勢	愛三工業	8.25.34 GR
5000mW	1	山西 利和	愛知製鋼	18.34.88 NR GR
棒高跳	1	山本 聖途	トヨタ自動車	5.50
円盤投	2	湯上 剛輝	トヨタ自動車	53.99
ハンマー投	2	墨 訓熙	小林クリエイト	67.17

第41回愛知県ジュニアオリンピック競技大会
2020年8月30日(日) パロマ瑞穂スタジアム

男子

種目	1位	2位	3位
100m	中山二千翔 11.17 東浦北部	佐々木康太郎 11.38 東浦西部	猪上 詞穂 11.42 東港
200m	柳瀬 功貴 23.20 末野原	石川 智基 23.36 東浦西部	荒川 雄太 23.53 豊明
400m	久田 凌大 50.20 福江	竹森 斗涉 50.45 豊橋陸上クラブ	永田 敦也 51.15 TSM
800m	畑村 侑壱 2.00.66 大高	富田 学将 2.03.23 守山東	黒野 大和 2.03.56 上郷
1500m	杉田 晃大 4.09.27 竜海	佐々木 哲 4.10.27 TSM	鈴木 駿介 4.13.26 豊川東部
3000m	相地 一夢 9.11.45 六ツ美北	辻 陽介 9.12.99 矢作北	野川 元希 9.14.37 みよし北
110mH (0.914m)	下田 隼人 14.54 愛知陸協	横山 将也 14.92 TSM	海老原竜也 15.28 平坂
走高跳	高木 魁里 1.83 岡崎北	1.77 松本 浩幸 AC一宮Junior 加古 彩人 愛知陸協	
棒高跳	久世 優空 4.02 大須AC	谷口 海斗 3.72 ハイテクAC	時原 仁 3.62 六ツ美北
走幅跳	森部 諒 6.33 富貴	谷口 瑠昊 6.18 愛知陸協	五藤 翔 6.15 木曾川
砲丸投 (5.000kg)	兵藤 拓郎 14.02 御幸山	松田 流輝 14.00 福岡	尾崎 涼 13.11 大高

女子

種目	1位	2位	3位
100m	佐藤 俐有 12.05 田原東部	岡田 翠 12.60 田原	神谷 朱里 12.72 安城JAC
200m	片山 心菜 25.60 城北	小酒井結菜 26.17 JACT	中澤 愛菜 26.18 尾張ランスター
800m	壁谷 衿奈 2.11.42 竜海	森 千莉 2.12.57 浄水	菅沼 梨瑚 2.16.23 愛知陸協
1500m	柴田 桃花 4.38.77 弥富	山本 理乃 4.40.07 猪高	林 彩夢 4.40.98 鶴城
100mH (0.762m)	林 美希 14.16 翔南	田島 七里香 14.34 TSM	牛田 麻琴 14.79 愛知陸協
走高跳	鰐部 茜 1.58 愛知陸協	安藤 奏乃 1.55 TSM岡崎	太田 結愛 1.46 TSM
棒高跳	都築 彩花 2.50 鶴城	松本 希 2.50 鶴城	後藤 芽生 2.20 宝神
走幅跳	松村 琴都 5.69 TSM	渡辺実優花 5.40 木曾川	武井 葉夏 5.34 なごや陸上
砲丸投 (2.721kg)	山田 真央 13.56 御幸山	平岩 里彩 12.29 守山	佐々木安里 11.93 豊正

令和2年度愛知県高等学校新人体育大会陸上競技大会
2020年9月26日(土)・9月27日(日) パロマ瑞穂スタジアム

男子 (=PR:県高校タイ GR:大会新)

種目	1位	2位	3位
100m	木下 凌輔 10.80 松蔭	森 快晴 10.82 尾北	香山 勇輝 10.82 中京大中京
200m	桂木 大和 21.95 中京大中京	木下 凌輔 22.07 松蔭	児玉 紘汰 22.30 桜丘
400m	桂木 大和 48.93 中京大中京	小川 大輝 49.05 豊橋南	小島 颯太 49.63 岡崎城西
800m	高嶋 荘太 1.57.92 中京大中京	山田 彪斗 1.58.26 豊田大谷	中津 瑛斗 1.58.37 大府東
1500m	大塚 直哉 3.48.60 GR 豊川	高嶋 荘太 3.50.17 GR 中京大中京	山田 彪斗 3.53.41 GR 豊田大谷
5000m	田島 駿介 15.00.18 旭野	本村 翔太 15.05.62 名経大高蔵	マッキーオン将人 15.06.71 中京大中京
110mH (1.067m)	西 徹朗 14.13 =PR GR 名古屋	田原 佳悟 14.74 名古屋西	竹下 空良 15.32 名古屋大谷
400mH (0.914m)	田原 佳悟 55.72 名古屋西	五島 陸 57.05 岡崎学園	青柳 佑 57.17 明和
3000mSC	馬淵 陽貴 9.37.29 中京大中京	三輪凌太郎 9.38.92 愛知	本多 秋詩 9.40.03 名経大高蔵
5000mW	杉野 悠人 24.13.81 西春	中島 生成 24.21.48 松蔭	足立 真崇 24.41.82 松蔭
4×100mR	岡崎城西 41.59	名古屋大谷 41.91	愛工大名電 41.97
	高倉 昂生 鈴木 一磨 山下 侑牙 岩田 航輝	伊藤 大翔 小島 拓真 齊藤 穂高 竹下 空良	宮澤 拓己 大西 瞭弘 丹羽 皓星 鈴木 颯斗
4×400mR	中京大中京 3.16.64	岡崎城西 3.21.42	桜丘 3.22.90
	桂木 大和 高橋 遼将 杉本 仁 亀山 祥吾	玉木 裕真 後藤 眞登 勝上 広大 小島 颯太	児玉 紘汰 柳 龍太郎 待鳥 大陽 木嶋 大翔
走高跳	鈴木 琉太 1.99 岡崎城西	安井 竣亮 1.96 一宮	田中 鉄馬 1.93 岡崎城西
棒高跳	布目 悠真 4.50 中京大中京	下嶋 結月 4.40 豊川	安部桂史郎 4.30 岡崎北
走幅跳	中島 海翔 7.37 名城大附	加藤 隼輝 7.04 中京大中京	田中 瑛一 7.03 豊橋南
三段跳	加藤 隼輝 13.96 中京大中京	神谷 海成 13.57 岡崎城西	池ヶ谷賢吾 13.39 岡崎城西

砲丸投	原 維近 14.52 春日井工	浅井 謙臣 13.33 名古屋	中島 寛亮 12.90 名古屋大谷
円盤投	上村 勇輝 43.02 名古屋大谷	長嶋 流万 42.26 名古屋大谷	庭野 夏海 39.04 誠信
ハンマー投	小島 諒大 54.19 名古屋大谷	濱口 大地 53.18 起工	後藤 悠圭 50.30 佐織工
やり投	横井 太翔 60.38 中京大中京	織田 翔万 54.21 名古屋大谷	鬼頭 悠哉 49.30 太白
総合	中京大中京 76	岡崎城西 45	名古屋大谷 42
トラック	中京大中京 50	松蔭 20	岡崎城西 16
フィールド	岡崎城西 29	名古屋大谷 28	中京大中京 26

トラック	中京大中京 63	安城学園 53	至学館 17
フィールド	修文女子 27	名古屋大谷 26	安城学園 20

第104回日本陸上競技選手権大会

2020年10月1日(木)～3日(土)
デンカビッグスワンスタジアム 本県8位入賞のみ

男子 (PB: パーソナルベスト)

種目	順位	氏名	所属	記録
400m	4	吉津 拓歩	東洋大	46.57 PB
	7	小久保友裕	早稲田大	46.96
1500m	6	河村 一輝	トーエネック	3.42.44
400mH	4	小田 将矢	豊田自動織機	50.44
棒高跳	2	山本 聖途	トヨタ自動車	5.60
円盤投	2	湯上 剛輝	トヨタ自動車	56.57
ハンマー投	2	古旗 崇裕	中京大	70.23 PB
	4	墨 訓熙	小林クリエイト	68.42
やり投	3	坂本 達哉	大阪体育大	78.07 PB

女子 (GR: 大会新)

種目	1位	2位	3位
100m	藏重 みう 11.92 GR 中京大中京	倉橋 美穂 12.06 中京大中京	土居 幸愛 12.37 光ヶ丘女子
200m	倉橋 美穂 24.67 中京大中京	飯田 真衣 25.23 安城学園	土居 幸愛 25.29 光ヶ丘女子
400m	小山 愛結 57.20 安城学園	北村 はる 57.79 日本福祉大付	政野 志歩 57.90 中京大中京
800m	青山 理奈 2.14.04 中京大中京	小山 愛結 2.15.59 安城学園	萩原 さら 2.18.23 中京大中京
1500m	磯部 早良 4.36.01 安城学園	丹羽 琴音 4.36.17 中部大第一	竹田 実紗 4.36.72 安城学園
3000m	磯部 早良 9.40.55 安城学園	丹羽 琴音 9.41.79 中部大第一	杉浦 花音 9.47.20 安城学園
100mH (0.840m)	松本佳音彩 14.32 中京大中京	坂井 寿々 14.42 至学館	服部明日風 14.56 中京大中京
400mH (0.762m)	神田 彩名 1.04.16 名城大附	服部明日風 1.05.26 中京大中京	夏目 紗彩 1.05.32 豊川
5000mW	片原未紗音 25.58.01 豊明	三浦萌乃果 29.26.68 旭野	西本 風沙 29.47.68 一宮西
4×100mR	中京大中京 46.72 GR 須崎 心優 倉橋 美穂 前田 紗希 藏重 みう	安城学園 47.26 GR 小松 このみ 手島 美咲 中根 葵 飯田 真衣	岡崎城西 48.44 森下 愛梨 沖 美月 藤井 鈴奈 田中 萌葉
	中京大中京 3.52.08 須崎 心優 政野 志歩 中野 知咲 青山 理奈	安城学園 3.52.30 飯田 真衣 石原 美空 中根 葵 小山 愛結	至学館 3.57.47 坂井 寿々 小幡 胡実 加藤 涼音 中西 楓夏
走高跳	加藤 愛結 1.61 光ヶ丘女子	1.58 矢野 夏希 時習館 吉岡 美音 岡崎城西	
棒高跳	磯貝 芽於 3.30 岡崎城西	齋藤 未来 3.00 至学館	川本みちる 2.80 豊川
走幅跳	石川 凜 5.55 安城学園	柴田 菜那 5.40 名城大附	大田 瑞穂 5.27 中京大中京
三段跳	石川 凜 11.65 安城学園	脇田ライラ瑠梨果 11.42 至学館	本多 柚稀 11.37 西尾
砲丸投	小原 恵 11.62 名古屋大谷	辻 萌々子 11.54 名古屋大谷	宮川 萌花 10.51 修文女子
円盤投	伊藤 圭菜 39.58 至学館	日高 千鶴 36.74 修文女子	安東 迪奈 34.30 一宮
ハンマー投	宮川 萌花 44.11 修文女子	原田 愛音 41.95 安城学園	戸塚つばめ 35.93 知多翔洋
やり投	辻 萌々子 49.73 GR 名古屋大谷	堤 陽菜 42.96 名古屋大谷	林 萌海 38.52 修文女子
総合	中京大中京 73	安城学園 73	至学館 36

女子

種目	順位	氏名	所属	記録
200m	5	吉田 紗弓	AC一宮	24.20
800m	7	青山 理奈	中京大中京高	2.09.08
1500m	8	福田 有以	豊田自動織機	4.22.53
円盤投	4	川口 紅音	日本体育大	49.09

2020年駅伝強化長距離競技会・投てき競技会

2020年10月10日(土) パロマ瑞穂北陸上競技場

台風14号のため中止

令和2年度愛知県高等学校定時制通信制秋季陸上競技大会

2020年10月11日(日) 知多運動公園陸上競技場

男子 (1位のみ)

種目	氏名	校名	記録
100m	判家 悠也	豊橋昼	11.54
200m	判家 悠也	豊橋昼	23.52
400m	綾部 俊哉	科技刈谷	53.44
800m	田村 珀英	科技刈谷	2.11.84
1500m	田村 珀英	科技刈谷	4.31.66
5000m	松下 詞音	科技刈谷	18.49.10
400mH	竹内 智哉	科技刈谷	1.05.01
3000mSC	竹内 智哉	科技刈谷	12.27.06
4×100mR	水野 悠杜 竹中 励 山口 皇真 村上 悠樹	岡崎工	48.46

4×400mR	綾部 俊哉 今尾 幸人 竹内 智哉 田村 珀英	科技刈谷	3.50.26
走高跳	清水 源樹	科技刈谷	1.90
走幅跳	清水 源樹	科技刈谷	6.22
三段跳	浅井 健汰	科技刈谷	12.29
砲丸投	疋田 光	豊橋昼	9.30
円盤投	疋田 光	豊橋昼	27.13
総合	科技刈谷		107

女子 (1位のみ)

種目	氏名	校名	記録
100m	鈴木 萌生	科技刈谷	14.79
200m	泉 知里	科技刈谷	28.74
400m	泉 知里	科技刈谷	1.06.73
800m	内山 もえ	科技刈谷	2.53.32
3000m	内山 もえ	科技刈谷	13.04.81
100mH	ルーデーシュルアイラ	豊橋昼	22.57
4×100mR	内田 ことみ 吉川 怜伽 鈴木 萌生 泉 知里	科技刈谷	57.17
走高跳	長岡 せな	豊橋昼	1.15
走幅跳	鈴木 萌生	科技刈谷	4.64
砲丸投	脇田恵里加	津島	5.55
円盤投	長岡 せな	豊橋昼	16.73
総合	科技刈谷		62

全国中学生陸上競技大会 2020
 2020年10月16日(金)～18日(日) 日産スタジアム

男子 (本県6位入賞のみ)

種目	順位	氏名	学校名	記録
400m	6	竹森 斗渉	豊橋陸上クラブ	50.18
1500m	1	杉田 晃大	竜海	3.59.03
4×100mR	6	水野 成皓 三井 楓 戸田 源大 中山 二千翔	東浦北部	43.42
砲丸投	6	松田 流輝	岡崎福岡	14.31

女子 (本県6位入賞のみ) (JR:日本中学新)

種目	順位	氏名	学校名	記録
100m	5	佐藤 俐有	田原東部	12.23
1500m	1	小嶋 聖來	六ツ美北	4.26.31
	6	柴田 桃花	弥富	4.28.25
走幅跳	2	松村 琴都	TSM	5.68
砲丸投	2	山田 真央	御幸山	14.80

四種競技	1	林 美希	岡崎翔南	3233 JR
	3	田島七里香	TSM	2941

全国高等学校陸上競技大会 リレー競技
 2020年10月16日(金)～18日(日) 日産スタジアム

男子 (本県1位のみ)

種目	氏名	校名	記録
4×100mR	香山 勇輝 館野 峻輝 鈴木 大河 河田 航典	中京大中京	40.38
4×400mR	桂木 大和 鈴木 遼将 高橋 慧亮 稲川	中京大中京	3.08.85

女子 (本県1位のみ)

種目	氏名	校名	記録
4×100mR	岸本 優花 倉橋 美穂 須崎 心優 藏重 みう	中京大中京	46.26

全国高等学校陸上競技大会 2020
 2020年10月23日(金)～25日(日) 広島広域公園陸上競技場

男子 (本県6位入賞のみ)

種目	順位	氏名	学校名	記録
400m	2	稲川 慧亮	中京大中京	47.16
1500m	1	大塚 直哉	豊川	3.51.49
110mH	2	高橋 遼将	中京大中京	13.64
	3	西 徹朗	名古屋	13.85
400mH	2	鈴木 大河	中京大中京	52.20
ハンマー投	3	小島 健誠	名古屋大谷	63.42

女子 (本県6位入賞のみ)

種目	順位	氏名	学校名	記録
200m	6	藏重 みう	中京大中京	24.40
800m	2	小山 愛結	安城学園	2.09.48
	4	川島 実桜	豊橋南	2.10.21
	5	青山 理奈	中京大中京	2.10.30
1500m	6	磯部 早良	安城学園	4.29.22
やり投	3	辻 萌々子	名古屋大谷	50.52
七種競技	3	白鳥 百花	中京大中京	4669

U20 全国陸上競技大会
 2020年10月23日(金)～25日(日) 広島広域公園陸上競技場

男子 (本県6位入賞のみ)

種目	順位	氏名	学校名	記録
400m	3	野瀬 大輝	立命館大	47.50

110mH	5	岩堀 剛己	同志社大	13.84
走高跳	6	宇野琳太郎	中京大	2.04
ハンマー投	5	中野 峻作	岐阜協立大	63.63

女子 (本県6位入賞のみ)

種目	順位	氏名	学校名	記録
100mH	6	安藤 愛未	至学館大	14.37
400mH	6	真鍋 綾菜	愛知教育大	1.01.35
走高跳	5	小寺 波音	日本女子体育大	1.65
棒高跳	3	渡邊 南月	日体大	3.50
三段跳	2	小寺 波音	日本女子体育大	12.49
ハンマー投	6	平岩 志萌	筑波大	50.88
やり投	2	田中 友梨	至学館大	49.82
	6	石垣 綾香	中京大	46.00

第2回愛知県中学生新人陸上競技大会
2020年10月31日(土)パロマ瑞穂スタジアム

男子 (GR:大会新)

種目	1位	2位	3位
1年100m	巻口 周平 11.53 GR 田原	中島 悠太 11.66 GR TSM	神谷 流星 12.02 TSM
2年100m	鎌戸 煌大 11.52 豊橋北部	久野 聡 11.58 上郷	山田 凱斗 11.65 西尾東部
3年100m	中山二千翔 11.09 東浦北部	柳瀬 功貴 11.11 末野原	向井 悠汰 11.13 安城南
200m	高井 佑太 23.64 愛知陸協	宮崎 遥士 23.81 大須AC	菊本 成連 23.94 小坂井
400m	角田 拓真 53.61 古知野	柴田 大和 54.43 矢作北	木村 海斗 54.72 大須AC
800m	宮下 颯汰 2.03.07 GR 城北	加納 駿翔 2.05.41 金屋	市川 波琉 2.06.36 大口
1500m	佐々木 哲 4.12.68 GR TSM	尾関 柗太 4.21.97 GR 弥富北	藤井敬史郎 4.22.32 GR 愛知陸協
3000m	豊田 雄大 9.20.96 AC-宮Junior	尾田 悠翼 9.27.62 岡崎南	神田 悦士 9.31.60 城北
110mH (0.914m)	西垣 俐玖 15.54 扇台	杉浦 颯志 16.21 竜海	坂井 大一 16.42 TSM
4×100mR	扇台 45.38 隠岐 魁人 西垣 俐玖 松尾 晃成 木下 航介	小坂井 45.97 足立光太郎 菊本 成連 山西 龍 内藤 翔真	守山東 46.25 橋詰 琉生 夫馬健一朗 小田 凱斗 鈴木 惇平
走高跳	沓名 修吾 1.80 豊橋東部	大竹 翔太 1.71 福岡	北野 翔紀 1.56 尾張旭西
棒高跳	市村 南翔 3.00 愛知陸協	杉田 孝介 3.00 古知野	有馬 巨紀 2.80 平坂
走幅跳	村林 航輔 6.06 武豊	宮本 恭伍 5.86 大口	平池 真人 5.82 古知野
砲丸投 (5.0kg)	小森 健太 11.16 愛知陸協	今村 桂也 10.71 鎌倉台	中村 俊郎 10.64 平坂
円盤投 (1.0kg)	生森 直希 23.38 牧の池	白木 康介 23.36 AC-宮Junior	吉川 一葉 21.77 TSM

女子 (GR:大会新)

種目	1位	2位	3位
1年100m	三輪 琉姫 12.53 GR トライルAC	神谷 朱里 12.88 安城JAC	今井美莉亜 12.96 AC-宮Junior
2年100m	佐藤 俐有 12.23 GR 田原東部	眞田 あこ 12.50 GR 章南	岡田 翠 12.66 GR 田原
3年100m	嶋 結菜 12.53 TTランナーズ	中澤 愛菜 12.61 弥富北	鈴木 虹葉 12.77 竜北
200m	岩田 祐香 26.66 平坂	森 那帆 26.90 古知野	鈴木 瑚々 27.24 平坂
800m	江藤 柚葉 2.16.89 GR 刈谷東	内田 詩乃 2.17.37 GR 矢作北	野村 美結 2.17.79 GR TSM
1500m	林 彩夢 4.36.57 GR 鶴城	杉浦 華夏 4.39.57 GR へきなん陸上クラブ	都築優衣華 4.39.97 GR 吉良
100mH (0.762m)	杉藤 葵 15.26 AC-宮Junior	大和 令奈 15.46 矢作北	高塚 虹百 15.49 岡崎南
4×100mR	田原東部 49.47 GR 行田果奈朋 高津 采里 門間 理莉 佐藤 俐有	平坂 50.67 中村 朱琳 松永 彩織 鈴木 瑚々 岩田 祐香	古知野 51.30 鈴木 萌香 林 夏穂 森 那帆 竹内 由奈
走高跳	岡本 結衣 1.49 豊川東部	稲垣 空良 1.46 高浜南	原田 碧 1.46 羽田
棒高跳	岡部 陽奈 2.60 逢妻	草野 咲蕾 2.50 愛知陸協	井上 未菜 2.00 古知野
走幅跳	新井沙也加 5.27 なごや陸上	糟谷 朋葉 4.86 福江	青木 唯 4.84 武豊
砲丸投 (2.721kg)	平岩 里彩 12.69 守山	上出 聖華 11.61 高蔵寺	川村 茉凛 11.58 守山東
円盤投 (1.0kg)	岩田明樺梨 28.68 GR TSM	船水 琴未 21.78 長久手北	河村 美来 21.68 長久手北

令和2年度愛知県高等学校駅伝競走大会
2020年11月1日(日)一宮市大野極楽寺公園発着
(男子:42.195km・女子:21.0975km)

総合

順位	男子		女子	
	学校名	タイム	学校名	タイム
1	豊川	2.03.55	安城学園	1.09.42
2	名経大高蔵	2.05.42	豊川	1.10.28
3	愛知	2.07.41	岡崎城西	1.12.52
4	中京大中京	2.07.43	愛知	1.13.07
5	旭野	2.10.34	中京大中京	1.14.33
6	中部大第一	2.11.15	岡崎学園	1.16.19

男子区間賞

区間	氏名	学校名	記録
第1区(10km)	田島 駿介	旭野	30.11
第2区(3km)	中野 倫希	豊川	8.11 区間新
第3区(8.1075km)	安藤 圭佑	豊川	23.46
第4区(8.0875km)	浅井 皓貴	豊川	24.10

第5区 (3km)	夏目 拓	豊川	8.35
第6区 (5km)	小島 准	名経大高蔵	14.27 区間新
第7区 (5km)	大塚 直哉	豊川	14.22

女子区間賞

区 間	氏 名	学校名	記 録
第1区 (6km)	磯部 早良	安城学園	19.24
第2区 (4.0975km)	竹田 実紗	安城学園	13.37
第3区 (3km)	小山 愛結	安城学園	10.01
第4区 (3km)	永谷 千宙	安城学園	10.04
	山田 晴華	中京大中京	
第5区 (5km)	杉浦 花音	安城学園	16.36

第34回愛知県小学生陸上競技選手権大会
2020年11月3日(火) パロマ瑞穂スタジアム

男子 (GR:大会新 ER:県小学生新)

種 目	1 位	2 位	3 位
4年 50m	竹内 奏太 7.40 豊橋陸上	蒲田 煌成 7.52 TSM 岡崎小学	両角 公位 7.53 OBUエニスポ
5年 100m	齋藤 大和 13.76 トライルAC	松永 惟吹 14.16 大須AC	間川 蓮斗 14.22 TSM 岡崎小学
6年 100m	片桐 兜真 12.75 田原陸上	遠村 竜斗 12.96 十四山体育クラブ	松岡 篤司 13.06 十四山体育クラブ
5・6年友好 100m	早川 宗汰 15.80 たかはま陸上	菱川貴由樹 15.85 田原陸上	高木 晴央 16.60 AC一宮Kids
4年 80mH	高橋 叶真 13.11 GR ER 成岩SC陸上	矢田 獅温 13.60 TSM 岡崎小学	セントンゴ郁斗 13.84 TSM
5年 80mH	脇島 良惟 13.22 成岩SC陸上	垣下紘之介 13.29 成岩SC陸上	山本 一真 13.68 TSM
6年 80mH	許田 響 12.53 TSM 岡崎小学	高島 峻央 12.66 TSM	山崎 滉生 13.05 TSM 岡崎小学
4年 走高跳	大澤 拓己 1.13 SET PROJECT	澁谷 光暁 1.00 OBUエニスポ	田井中大和 1.00 TSM 岡崎小学
5年 走高跳	石井 佑晃 1.21 布袋陸上クラブ	由比藤 匠 1.20 いっしき陸上	戸松 玲 1.15 布袋陸上クラブ
6年 走高跳	服部 恭佑 1.37 田原陸上	吉田 蒼健 1.33 OBUエニスポ	田中 湊 1.30 なごや陸上
4年 走幅跳	中島 海翔 3.70 SET PROJECT	高井 智哉 3.67 JAC武豊	飯沼 貴一 3.58 たかはま陸上
5年 走幅跳	濱山 瑛大 4.21 乙川ISC	平山翔一朗 4.00 AC一宮Kids	吉田 有杜 3.96 ハイテクAC
6年 走幅跳	木村 晴 4.92 JAC武豊	坂 優作 4.79 東浦AC	森 啓修 4.74 TFC半田
4年 ジャバリックボール	牧野 壮良 40.55 豊橋陸上	木村 漣 40.46 大須AC	服部 優杜 39.17 大須AC
5年 ジャバリックボール	河合 健琉 46.05 田原陸上	谷口 滉弥 44.36 トライルAC	近藤 良 41.49 TSM 岡崎小学
6年 ジャバリックボール	松永 健生 48.61 稲沢AC	松永 奏拓 45.57 西尾AC Jr	星野 陸 44.19 OBUエニスポ

女子

種 目	1 位	2 位	3 位
4年 50m	菰田 夕乃 7.85 田原陸上	山下乃々葉 7.86 SET PROJECT	宮道菜々美 7.90 豊川AC

5年 100m	八代 理衣 14.24 上郷JAC	西銘 風桜 14.27 TSM	小林 ゆら 14.27 SFジャンパー
6年 100m	荻野 澄純 13.38 トライルAC	竹内 沙葉 13.77 上郷JAC	紀國 佑香 14.07 TSM
5・6年友好 100m	牧野ひまり 15.92 たかはま陸上	壁谷 茜季 16.30 田原陸上	和田 杏菜 17.43 たかはま陸上
4年 80mH	浜本 恵瑠 13.94 TSM	樋口 奈美 14.18 TSM	岡 菜月 14.35 TSM
5年 80mH	酒井 波 13.29 成岩SC陸上	榊原 東子 13.30 JAC武豊	三輪 成未 13.69 AC一宮Kids
6年 80mH	黒柳 紗依 13.49 TSM 岡崎小学	椎屋 美玲 13.64 TSM	高塚 瞳衣 13.94 TSM 岡崎小学
4年 走高跳	間瀬 花帆 1.16 YOUKI	木村 友柚 1.13 JAC武豊	榊原 芽生 1.10 JAC武豊
5年 走高跳	中馬 聡美 1.25 TSM	破田野早映 1.20 AC一宮Kids	森山ひまわり 1.20 JAC武豊
6年 走高跳	伊藤 陽南 1.36 知立ジュニア	竹中 柚晴 1.30 TSM	間瀬 奏波 1.25 TSM 岡崎小学
4年 走幅跳	中島 桃夏 3.73 OBUエニスポ	白滝 明彩 3.30 東浦AC	
5年 走幅跳	中村 恵依 4.32 AC一宮Kids	中村 倫子 4.08 成岩SC陸上	犬飼 七彩 3.95 JAC武豊
6年 走幅跳	犬飼 心彩 4.32 JAC武豊	安藤 胡桃 4.02 たかはま陸上	新美 結月 3.95 TFC半田
4年 ジャバリックボール	山本さくら 29.31 TSM 岡崎小学	松浦 朱里 28.56 大須AC	棚瀬 梨央 27.38 大須AC
5年 ジャバリックボール	伊藤 繪華 41.04 TSM 岡崎小学	田中 舞音 36.16 OBUエニスポ	裕 菜桜 32.64 トライルAC
6年 ジャバリックボール	今井 柚希 41.46 Spirits	丸山 夏蓮 41.31 TSM 岡崎小学	大野 奈美 40.02 AC一宮Kids

男女混合 (GR:大会新)

種 目	1 位	2 位	3 位
4年 友好 50m	島津 大惺 8.37 AC一宮Kids	大谷 吏功 8.65 田原陸上	石渡結希乃 8.81 AC一宮Kids
4年 4×100mR	大須AC 58.74 新屋 美貴 燃杭 蓮 小嶋くるみ 加藤凜太郎	トライルAC A 59.59 三輪 乃愛 奥田 恭介 松山 璃々 阿野 射己	たかはま陸上 1.01.09 間瀬 咲良 大久保結月 犬塚 玲莉 久田 太一
	田原陸上 55.90 GR 杉岡 侑樹 星野 月音 塚原 美空 前川 紡	なごや陸上 58.53 伊藤 弥生 武藤圭史朗 佐々木真斗 番 菜々美	たかはま陸上 1.04.24 江坂 由愛 原田 葵 早川 怜皇 近藤 圭太
6年 4×100mR	なごや陸上 54.16 余語 柚奈 大村 海惺 森 光輝 大野 世奈	たかはま陸上 55.96 石川 琉惟 久田 真優 近藤 太一 磯道 秀伍	AC一宮Kids 59.46 山本修太郎 片岡 結仁 柴山 明緒 岩淵 絢子

“目清食品カップ”愛知県小学生陸上競技交流大会
2020年11月3日(火) パロマ瑞穂スタジアム

男子

(1位のみ)

種 目	氏 名	校 名	記 録
5年 100m	安藤 璃宮	安城JAC	13.54

6年100m	田澤桜二郎	TSM岡崎小学	13.16
友好100m	今村 琉翔	安城JAC	13.65
共通コンバインドA	矢野 春樹	JAC武豊	2254
共通コンバインドB	深津 輝瀧	JAC武豊	1896

女子 (1位のみ)

種目	氏名	校名	記録
5年100m	祖父江亜希夏	AC一宮Kids	14.05
6年100m	佐藤 那有	田原陸上	13.74
友好100m	相田 清良	安城JAC	14.24
共通コンバインドA	蛭川 真奈	成岩SC陸上	2165
共通コンバインドB	伊藤 里桜	大須AC	1698

混合 (1位のみ)

種目	氏名	校名	記録
共通 4×100mR	橋本純之介 杉山 惇人 伏木 杏莉 田中 咲有	安城JAC	51.54

栄 章

おめでとうございます

令和元年度日本陸上競技連盟の栄章が次に掲げる方々に授与されました。心よりお祝い申し上げます。

(秩父宮章) 日本陸連・加盟団体への功労

砂子間英明 (名古屋地区陸上競技協会理事)

(高校優秀指導者章) 高校生指導者として功労

二村 大介 (中京大中京高等学校)

(中学優秀指導者章) 中学生指導者として功労

丹羽 智行 (藤森中学校)

(高校優秀選手賞)

田中 友梨 (至学館高校)

(中学優秀選手賞)

香山 勇輝 (東郷中)

(安藤百福賞)

谷寄 好美



秩父宮章 砂子間英明氏

愛知陸協会長表彰の5氏

また、東海陸上競技協会章として次の7名が表彰されました。

高槻 英徳 田口 茂 (尾張)

近藤 修一 名倉喜三郎 (名古屋)

松本 幸人 稲垣 早美 (西三河)

伊藤 朝一 (東三河)

さらに令和2年度愛知陸上競技協会会長表彰として次の5名が表彰されました。

大西 敏功 松井 祐二 (尾張)

森浦 朗 (名古屋)

太田 一弘 市川 陽明 (西三河)

(水野 隆夫)

理事会等会議報告

○6月理事会 令和2年6月2日(火)

1. 協議事項

第1号議案 令和元年度一般概要及び事業報告について

第2号議案 令和元年度収支決算報告について

監査報告

第3号議案 令和2年度愛知陸協会長表彰候補者推薦について

2. 報告事項

①第80回愛知陸上競技選手権賞について

②第63回東海陸上競技選手権大会について

③第6回東海小学生陸上競技大会について

文書にて決済を行い、全て承認されました。

○定時評議員会 令和2年6月29日(月)

1. 協議事項

第1号議案 令和元年度一般概要及び事業報告について

第2号議案 令和元年度決算報告について

監査報告

第3号議案 令和2年度愛知陸協会長表彰候補者推薦について

2. 報告事項

①第80回愛知陸上競技選手権賞について

②第63回東海陸上競技選手権大会について

③第6回東海小学生陸上競技大会について

文書にて決済を行い、全て承認されました。

(水野 隆夫)

お く や み

長年本県の陸上競技の発展のため、多大なるご尽力をいただきましてありがとうございました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。(敬称略)

逝去者氏名 逝去年月 支部名

西川 洋 2・3 名古屋

横田 泰一 2・4 東三河

編 集 後 記

◇コロナ禍の下、万全な対策を講じての競技会運営。好成績に、一段と喜びを感じる。◇しばらくは、忍耐の時期。工夫を重ねて練習に競技運営に臨みたい。◇どんな形にしろ、オリンピックの開催を切に願う。◇寄稿に深謝。

編 集 委 員

大西 敏功 小坂 拓 鈴木人呂信 竹前 正直
茶谷 和彦 新見 精三 野口 一昭 兵藤 重二
山下ゆかり